

CHOFU

本体取扱説明書

保証書付

強制追焚付石油給湯器(直圧式)

型名

〔石油給湯機付ふろがま〕

KIB-4770DSA

KIBF-4770DSX

KIBF-4770DSA

KIBF-4770DX

KIBF-4770DA

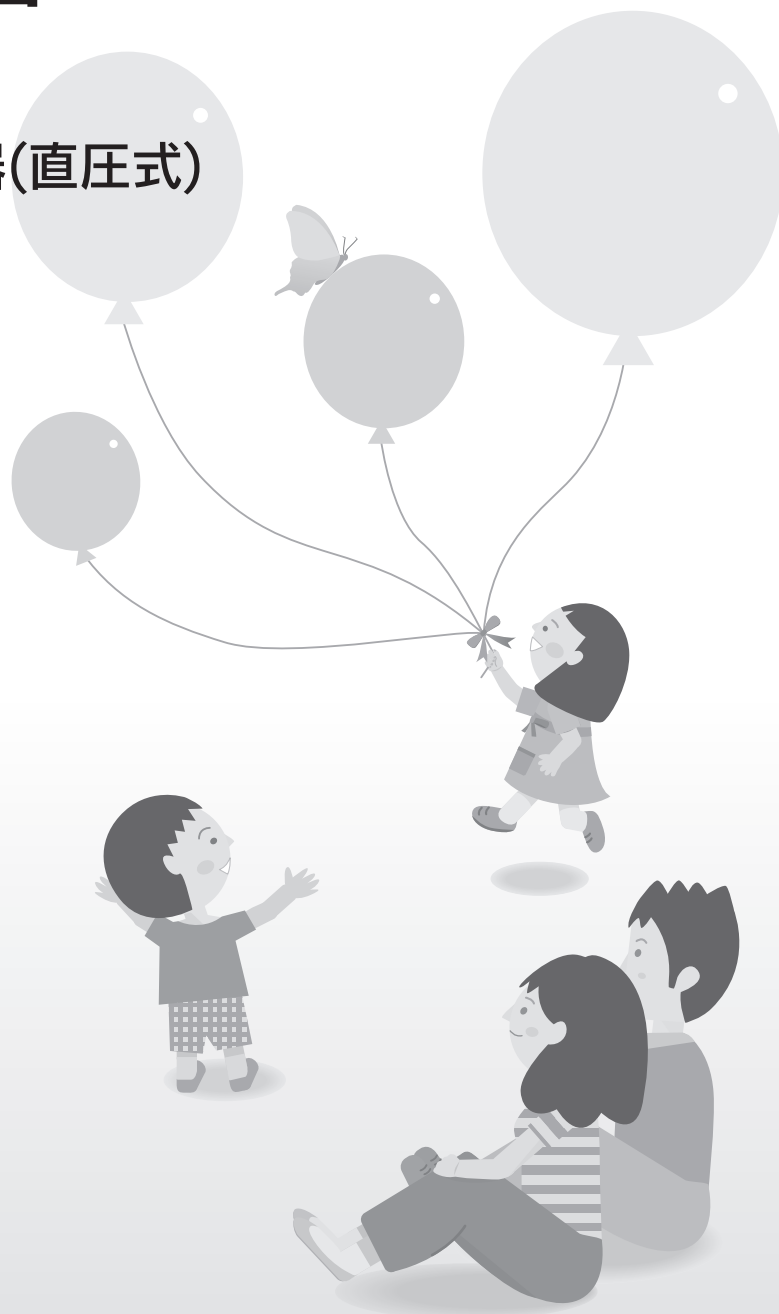
KIBF-4770DS

KIBF-4770DKA

KIBF-3970DSA

KIBF-3970DA

KIBF-3970D



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10226752 (DU)

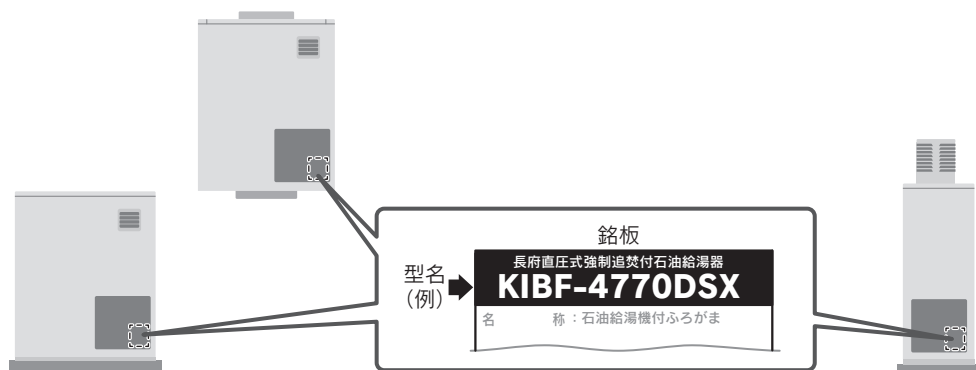
取扱説明書をお読みになる前に

**機器の排気タイプ・設置方式・機能タイプ
および、リモコンのタイプを確認してください。**

本書では必要な項目で機器の排気タイプ・設置方式・機能タイプおよび、リモコンのタイプを記載して説明しています。

□(太枠)内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておく、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



2 型名から以下の表で排気タイプ・設置方式・機能タイプを確認してください。

型名: KIB - 70D

英字
(F
または
なし)

数字

英字

設置方式

Kが入っている	☐ 壁掛型
Kが入っていない	☐ 床置型

機能タイプ

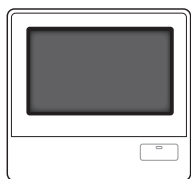
Xが入っている	☐ フルオート
Aが入っている	☐ オート
XおよびAが入っていない	☐ フルオート/オート以外

排気タイプ

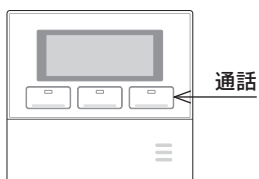
Fが入っている	排気筒の形状を確認する		
☐ 前面排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 強制通気タイプ	☐ 無煙突タイプ
排気部 ※イラストは床置型です。	排気筒の先にエルボトップがついている。 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 排気筒 エルボトップ	排気筒の先にH型トップがついている。 H型トップ 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 排気筒	拡散排気筒がついている。 拡散排気筒

3 ご自宅の台所リモコンでリモコンのタイプを確認してください。

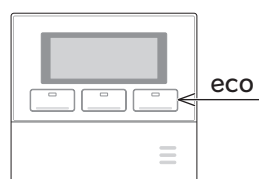
☐ タッチパネルリモコン



☐ インターホンリモコン



☐ 音声リモコン



リモコンの形状が同じなので、矢印のスイッチの名称で判断してください。

イラストはイメージです。

取扱説明書をお読みになる前に

も	く	じ	ページ
ご使用の前に		取扱説明書をお読みになる前に	2
		特に注意していただきたいこと	6
		各部の名称	
		（外観図）	16
		ご使用前の準備と確認	
		（燃料）	20
		（給油）	20
		（油切れ予告装置について）	21
		（点火前の準備と確認）	21
必要なときに		冬期の凍結による破損防止について	
		（凍結予防）	24
		（水抜き後の再使用のとき）	30
		（凍結したとき）	32
		（強制ふる凍結予防運転）	34
		長期間使用しない場合	40
		日常の点検・手入れ	
		（点検・手入れの必要事項、時期、方法）	41
		定期点検	46
		法定点検	46
		故障かな？と思ったら	
		（修理を依頼する前に）	47
		（安全装置）	51
		（その他の装置）	51
		（エラーコード）	52
		部品交換について	58
		仕 様	59
		据付け	63
		試運転	63
		保証書	巻末
		アフターサービス	裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している
取扱説明書で説明しています。

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 9ページ

凍結を予防したい

▶ 24～29・34～39ページ

お手入れはどうしたらいいの？

▶ 41～45ページ



給湯器の動きがいつもと違う

▶ 47～51ページ

リモコンにエラーコードを表示している！

▶ 52～57ページ

ご使用前に

必要なときに

特に注意していただきたいこと

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

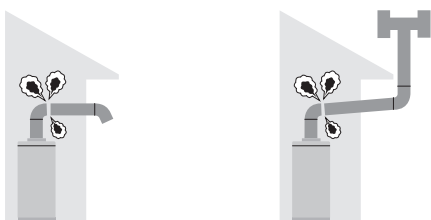
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒はずれ危険(屋内設置の場合)

排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●排気筒閉そく危険(屋内設置の場合)

排気筒がつまったり、ふさがれたりしたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

積雪の多い地方などでは、排気筒トップの周囲が雪や氷柱(つらら)でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。

酸欠事故・火災・過熱の原因になります。

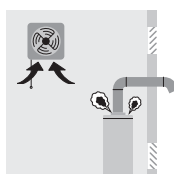


●換気扇の同時使用禁止

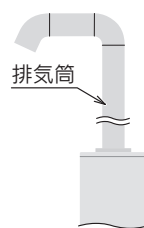
(強制排気タイプ・強制通気タイプで屋内設置の場合 **2ページ**)

機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃烧中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。

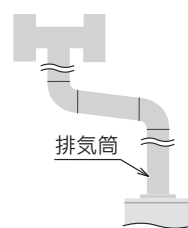
換気口が設置されていてモリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



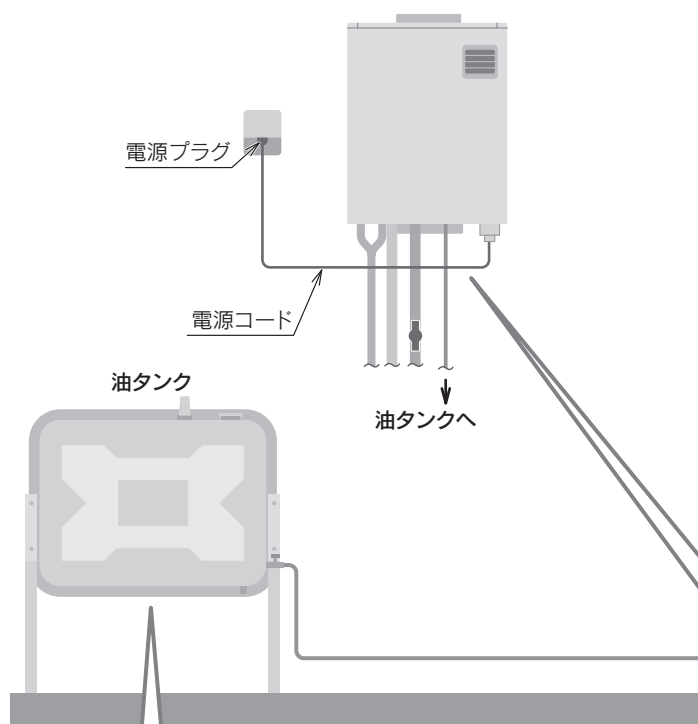
強制排気タイプ



強制通気タイプ



壁掛型
(前面排気タイプ)



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
	ガソリン厳禁		濡れ手禁止
	分解禁止		接触禁止
	一般的な警告・注意		高温注意
	感電注意		アースを接続する
	電源プラグを抜く		

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

やけどのおそれがあります。



●ふろ自動中(フルオート・オートの場合 2ページ)や追いだき中は、循環口に近づかない

循環口から熱いお湯が出るので注意してください。やけどのおそれがあります。



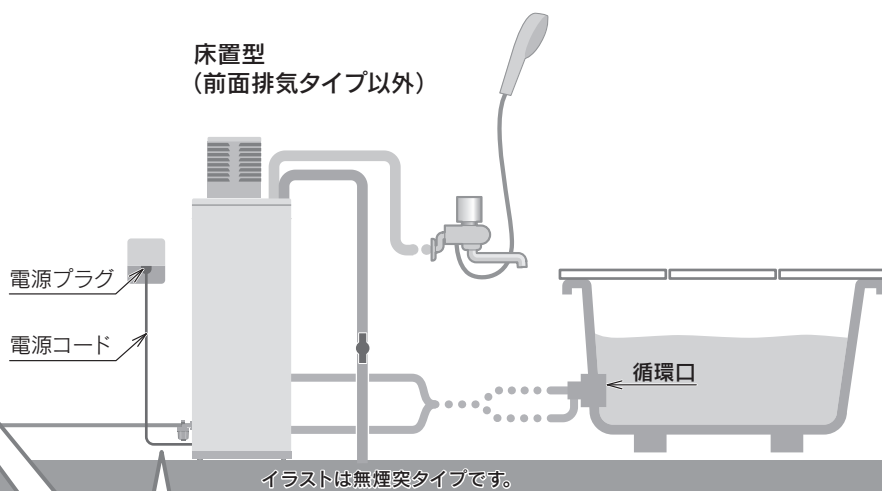
●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき

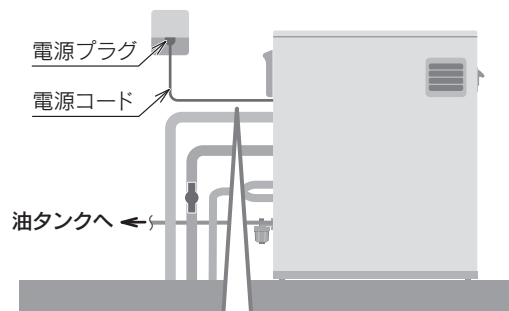


床置型
(前面排気タイプ以外)



イラストは無煙突タイプです。

床置型
(前面排気タイプ)



●電源コードは切断して延長しない

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。
絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災・感電・発熱の原因になります。



特に注意していただきたいこと

警告

●改造・分解禁止

絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ない、火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因になります。



子どもに注意する

●子どもをおふろにもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

●子どもだけで入浴させない

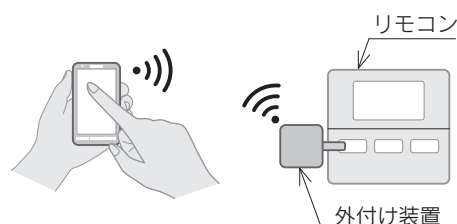
思わぬ事故の原因になります。



●外付け装置(※)による遠隔操作厳禁

機器本体およびリモコンのスイッチの操作を、外付け装置を使用して行くと、思わぬ事故の原因になることがあるため使用しないでください。

※外付け装置とは、操作スイッチ付近に設置し、インターネット通信などを利用して機械的に操作スイッチを入/切できる装置のことです。



注意

異常・故障時使用禁止

使用を続けると事故の原因になります。

1. 以下の場合にはすぐに使用を中止する

- ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
- ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
- ・ 多くのススが出る
- ・ 油が漏れている
- ・ おふろに関する動作中以外でおふろの水位が上昇する

2. 「故障かな?と思ったら」を参照して処置を行う 47～57ページ

3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する



●ゴム製送油管の点検・交換をする (強制排気タイプ・強制通気タイプの場合) 2ページ

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



●ゴム製送油管の屋外使用禁止

屋外では必ず金属管(銅管など)を使用し、ゴム製送油管は絶対に使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
凍結のおそれがあるときは、電源プラグを抜かないでください。(凍結による故障拡大を防ぐため)
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

空だきに注意

火災の原因になります。



●おふろにお湯(水)が入っていることを確認する

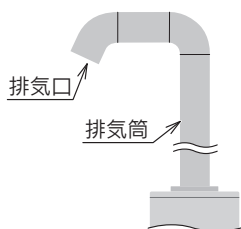
追いだし運転やたし湯運転、保温運転をするときは循環口上部から約5cm以上給水してください。

高温部接触禁止

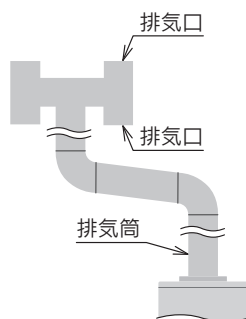


- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・拡散排気筒・排気部)に手など触れない
やけどの原因になります。

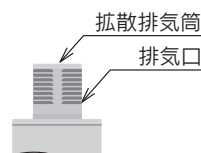
強制排気タイプ



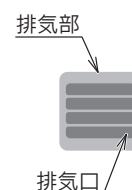
強制通気タイプ



無煙突タイプ



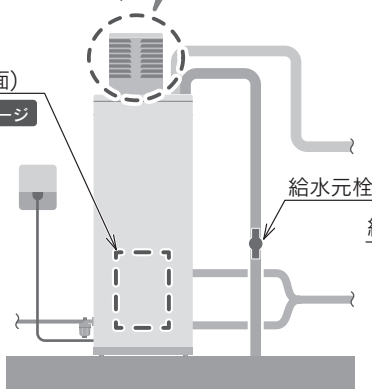
前面排気タイプ



床置型
(前面排気タイプ以外)

給気部(後面)

16・17 ページ

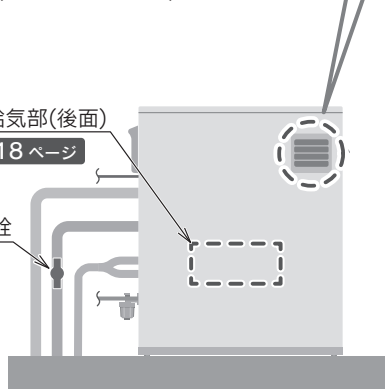


床置型
(前面排気タイプ)

給気部(後面)

18 ページ

給水元栓

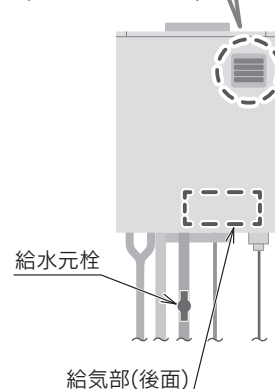


壁掛型
(前面排気タイプ)

給水元栓

給気部(後面)

18 ページ



- 給気部や排気口に指や棒を入れない

けがや事故の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

●家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



●もらい錆びに関する注意

機器の周囲で発生した錆が機器外装に付着し、錆びる(もらい錆をする)ことがあります。



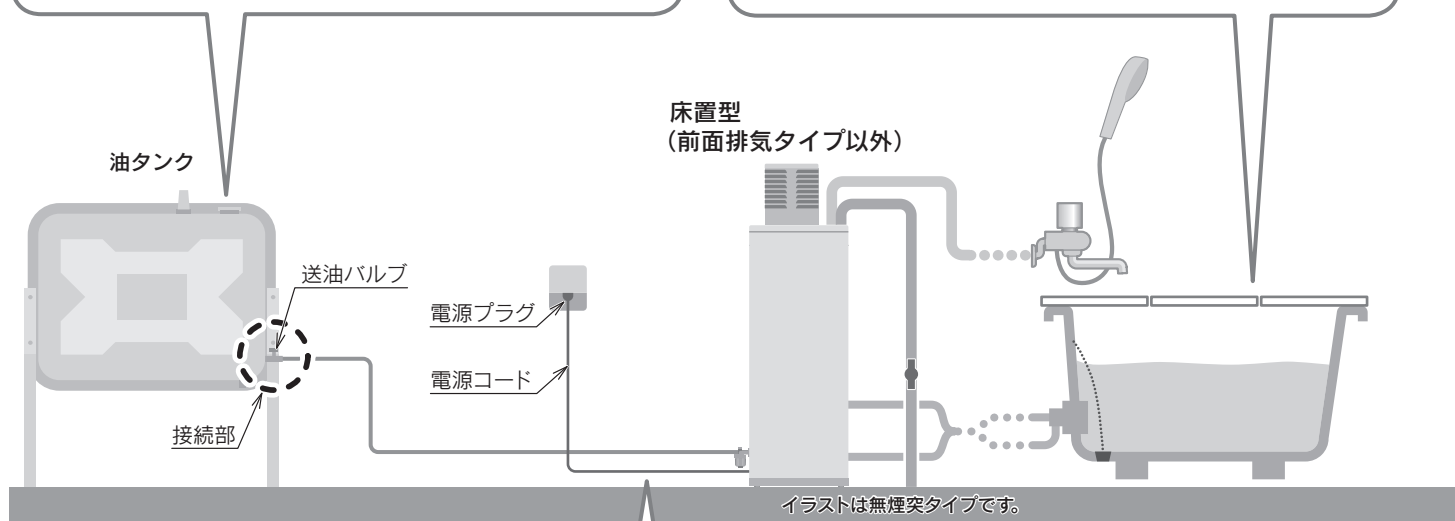
●油漏れに注意する

機器や油タンクの送油経路、特に接続部に油漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。



●お風呂のふたに乗ったり、手をついたりしない

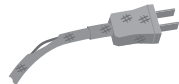
ふたがはずれておぼれたり、やけどをしたりするなど思わぬ事故の原因になります。



電源コード、電源プラグ、アースについて

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使用しない

火災・感電・発熱の原因になります。



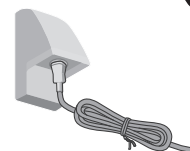
●傷つけたり、破損させたりしない

火災・感電・発熱の原因になります。



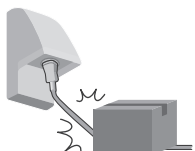
●電源コードを束ねたまま使用しない

火災や発熱の原因になります。



●無理な力を加えない

- ・無理に曲げない
- ・物を載せない
- ・引っ張らない
- ・衝撃を与えない



火災・感電・発熱の原因になります。

●電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

火災・感電・発熱の原因になります。



●電源プラグを濡れた手で触らない

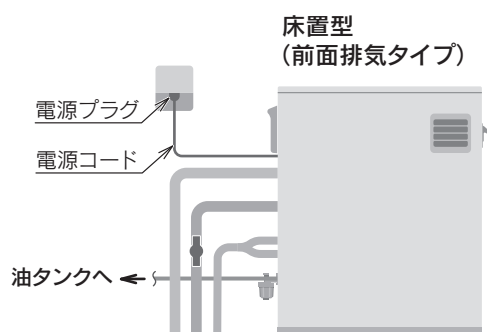
雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



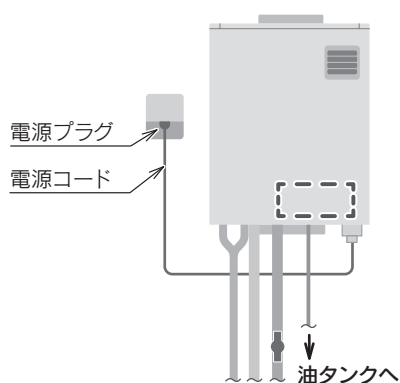
●台風通過後の注意



屋外に設置している機器や油タンクは、状態を確認してから使用してください。
機器や油タンクが倒れていたり、機器の排気口が物でふさがっていたりすると、正常に作動しなくなります。



壁掛型
(前面排気タイプ)



●電源プラグのほこりは定期的にふきとる



リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



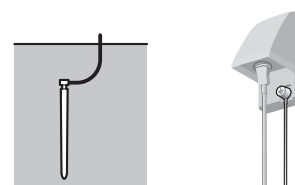
●電源プラグは確実に差し込む

火災・感電・発熱の原因になります。



●アースを確認する

この機器はアースが必要です。
アースが接続されていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
感電の原因になります。



※バックアップ電源ユニットと接続した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。
ほこりを乾いた布でふいてください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすい物を置かない

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

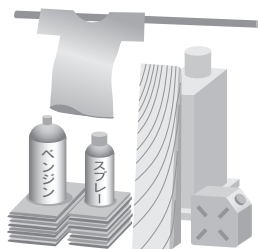
火災の原因になります。



- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

爆発や火災の原因になります。

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



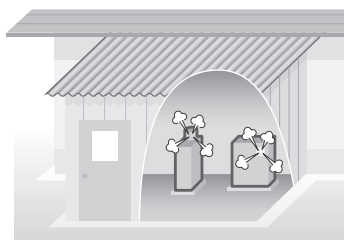
囲い禁止(屋外設置の場合)

不完全燃焼や火災の原因になります。

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない

- 機器全体や排気部または拡散排気筒などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない

- 外壁工事などで機器全体や排気部または拡散排気筒が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプと前面排気タイプです。

使用上の注意

- 給湯・シャワー・追いだき以外には使用しない

思わぬ事故の原因になります。



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意する

使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。



- 純正部品を使用する

当社純正部品を使用しないと事故や故障の原因になります。



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

お客様ご自身で行うと、火災・感電・事故の原因になります。



- 長期間使用しないとき

「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。

26～29 ページ

火災や思わぬ事故の原因になります。



- 子どもを機器の周囲や直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



お願い

停電時の注意

●停電したときは給湯栓を閉める

停電すると運転が停止します。
停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。**25～29ページ**
ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯(水)は飲用や調理に使用しない

飲用や調理に適さないお湯(水)が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分にお湯(水)を流してから使用してください。

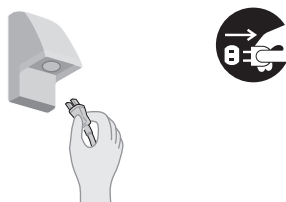
●断水時は追いだきをしない

お風呂のお湯が循環口上部から約5cm以上ある場合でも、追いだきをしないでください。
故障の原因になります。

雷発生時の注意

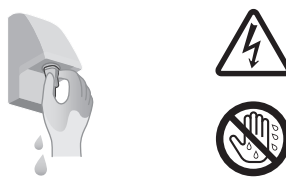
●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷するおそれがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

濡れた手で電源プラグを触らないでください。
感電の原因になります。



以下場合は取扱説明書を参照して処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

52～57ページ

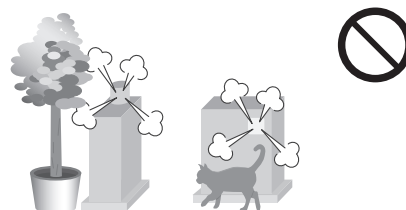
処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

●凍結のおそれがあるとき **24～29・34～39ページ**

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受ける物を周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない 変色・破損・腐食の原因になります。

特に注意していただきたいこと

お願い

使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ったりすることがあります。

●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●エルボトップの下に物を置かない

エルボトップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。

下に物などを置かないでください。



●水道水を使用する

地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない

リモコンの運転スイッチが「切」のときに給湯栓を開けて大量の水やシャワーを使用すると、機器内の通水部が結露して機器の寿命を縮めます。

●高地で使用するときはご相談ください

下記の高地で使用するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。燃焼不良の原因になります。

KIB-4770DSA KIBF-4770DKA	標高 800～1,300m 標高1,300mを超える 場所では使用できません。
KIBF-4770DSX・DSA KIBF-4770DX・DA KIBF-4770DS KIBF-3970DSA・DA KIBF-3970D	標高1,000～1,500m 標高1,500mを超える 場所では使用できません。

●冬期の入浴について

冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)により、特に高齢のかたは入浴事故につながるおそれがあります。

入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。浴室で利用できる暖房機器がない場合でも、お風呂にふたをしないでお湯はりをしたり、シャワーでお湯を流したりして浴室を暖めることができます。

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

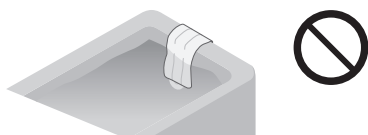
積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



浴そうに関する注意

- 循環口を手・足・タオルなどでふさがない
故障の原因になります。



- 循環口フィルタが緩んだり、はずれたまま
で使用しない

髪の毛が吸い込まれるなど事故・故障・けがの原因になります。
特に小さなお子様には注意してください。

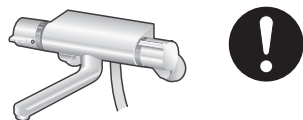
混合水栓について

- 通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する
通水抵抗や圧力損失が大きいと、出湯量減少の原因になります。

- 水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

- やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨する

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどのおそれがあります。



機器内のお湯(水)について

- 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

雑用水として使用してください。
水質の変化により健康を害する原因になります。

入浴剤や洗剤の使用について

- 入浴剤や洗剤に注意する

温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、機器や配管の腐食などの原因になります。また、水質の変化により機器内や配管を腐食させる原因になりますので使用しないでください。



- 浴そう内ではミカンやレモンなどを浮かべたり、石けんやボディーシャンプーを使用したりしない

次回使用時に泡が出て、故障の原因になります。ボプリーなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。

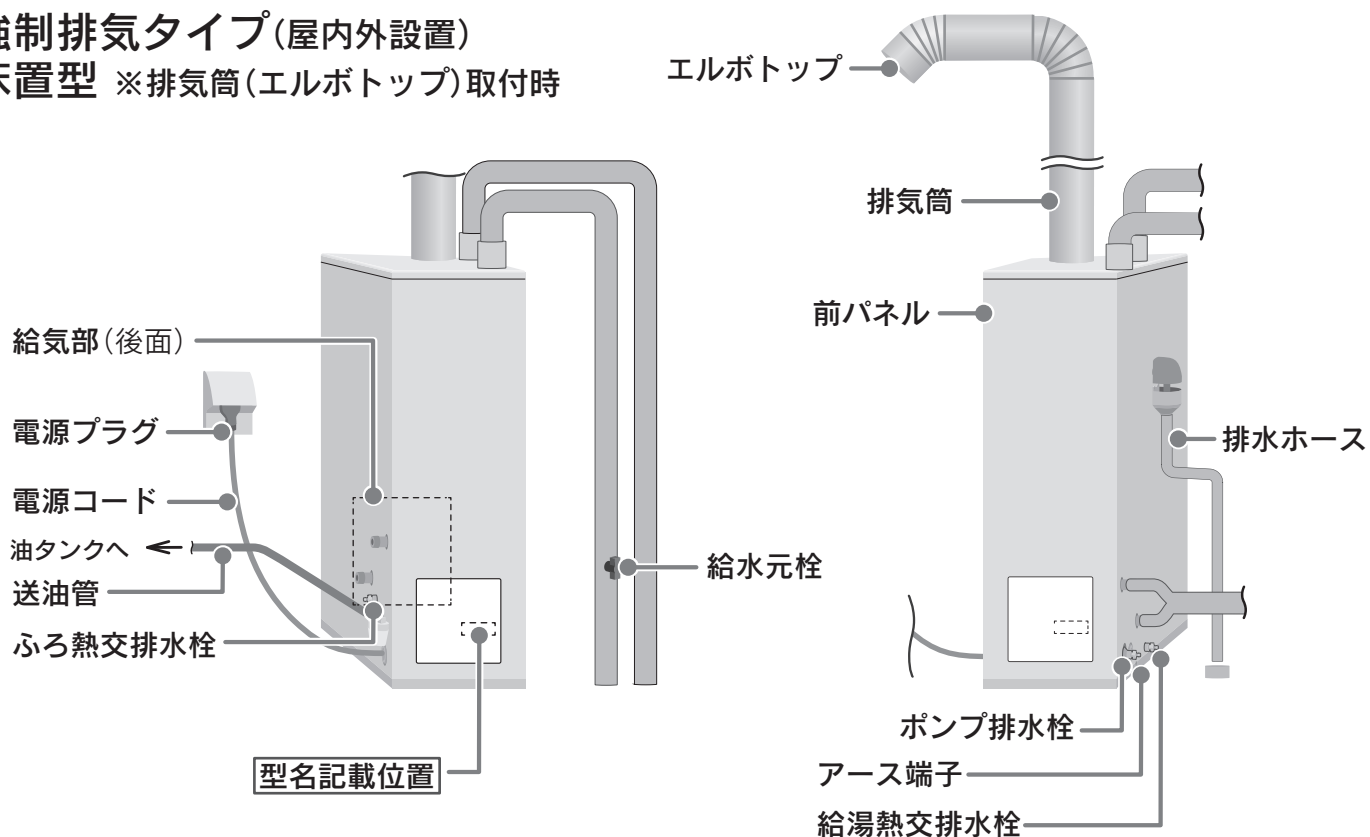


各部の名称

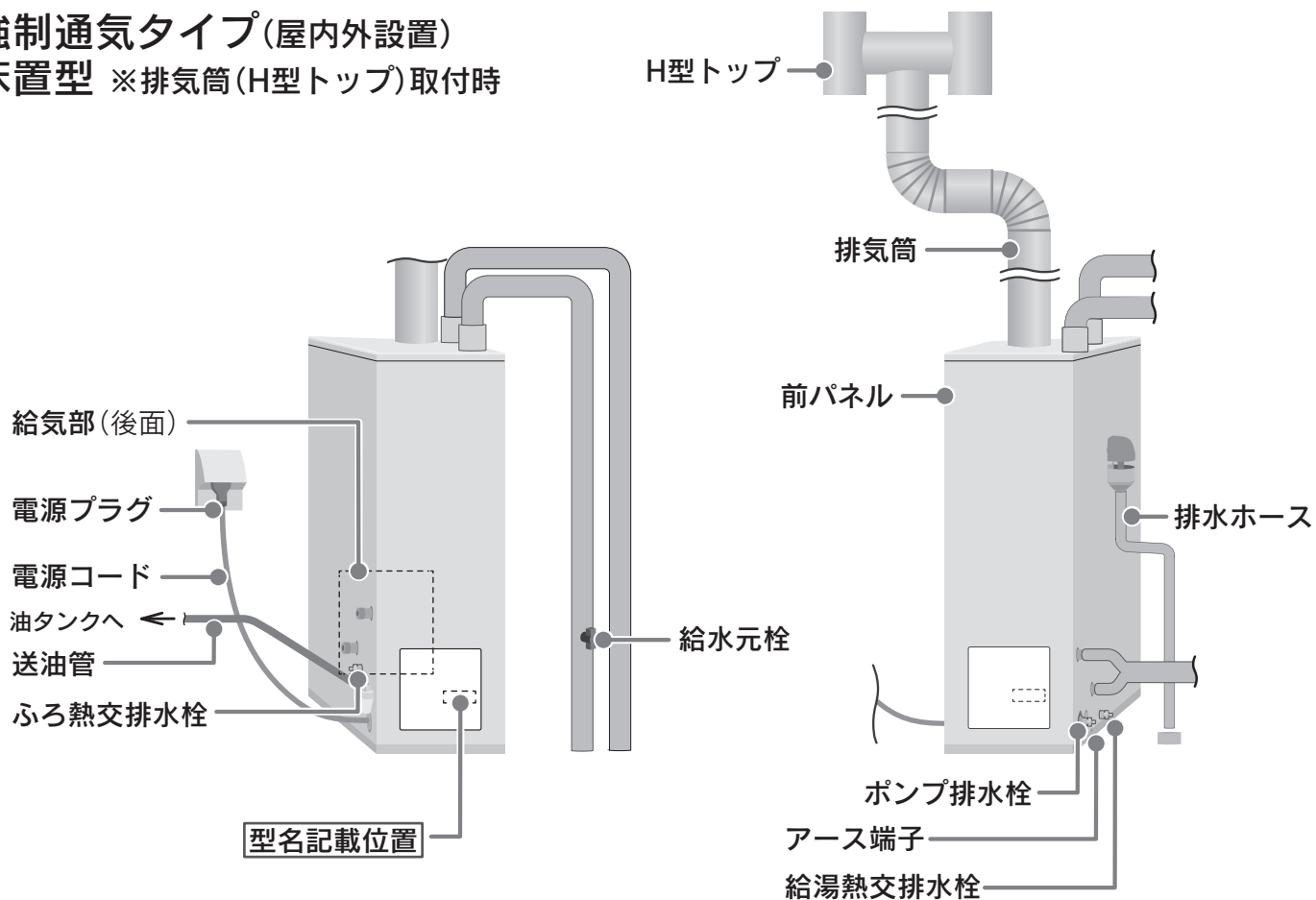
外観図

※排気タイプについては、**2ページ**に記載しています。
イラストはイメージです。

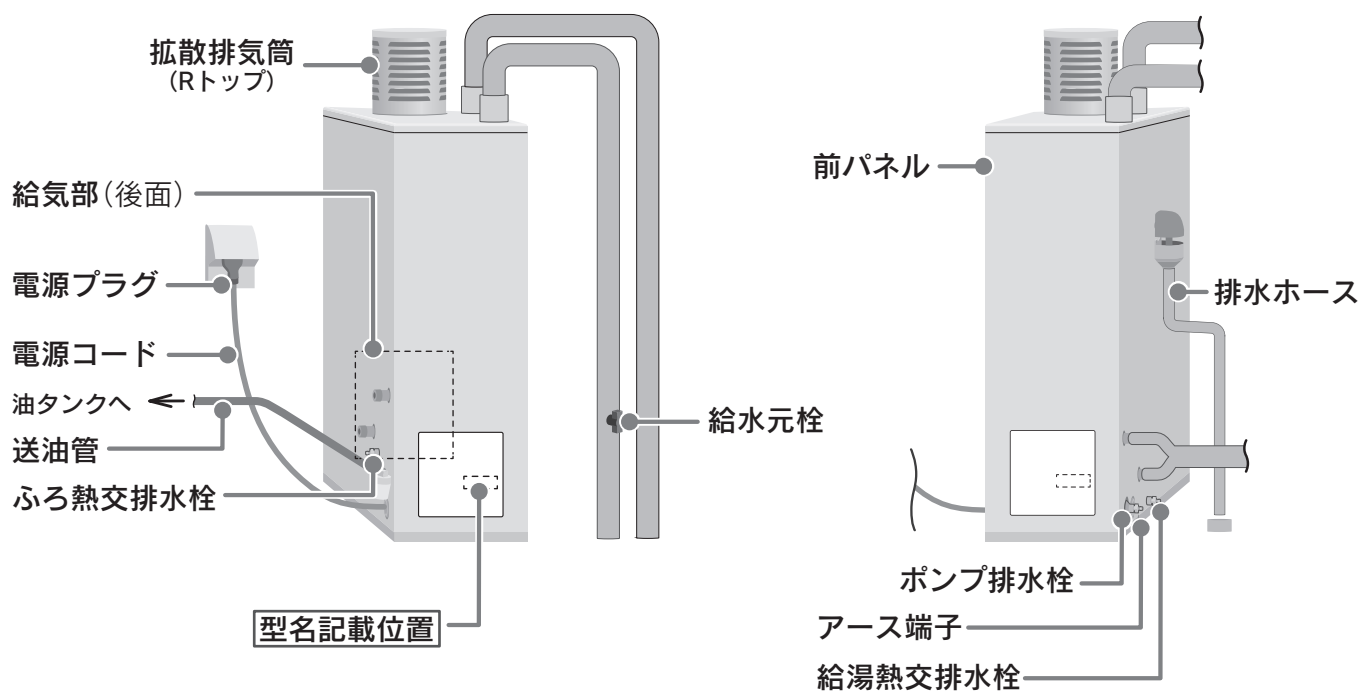
強制排気タイプ(屋内外設置) 床置型 ※排気筒(エルボトップ)取付時



強制通気タイプ(屋内外設置) 床置型 ※排気筒(H型トップ)取付時



無煙突タイプ(屋外設置)
床置型 ※拡散排気筒(Rトップ)取付時

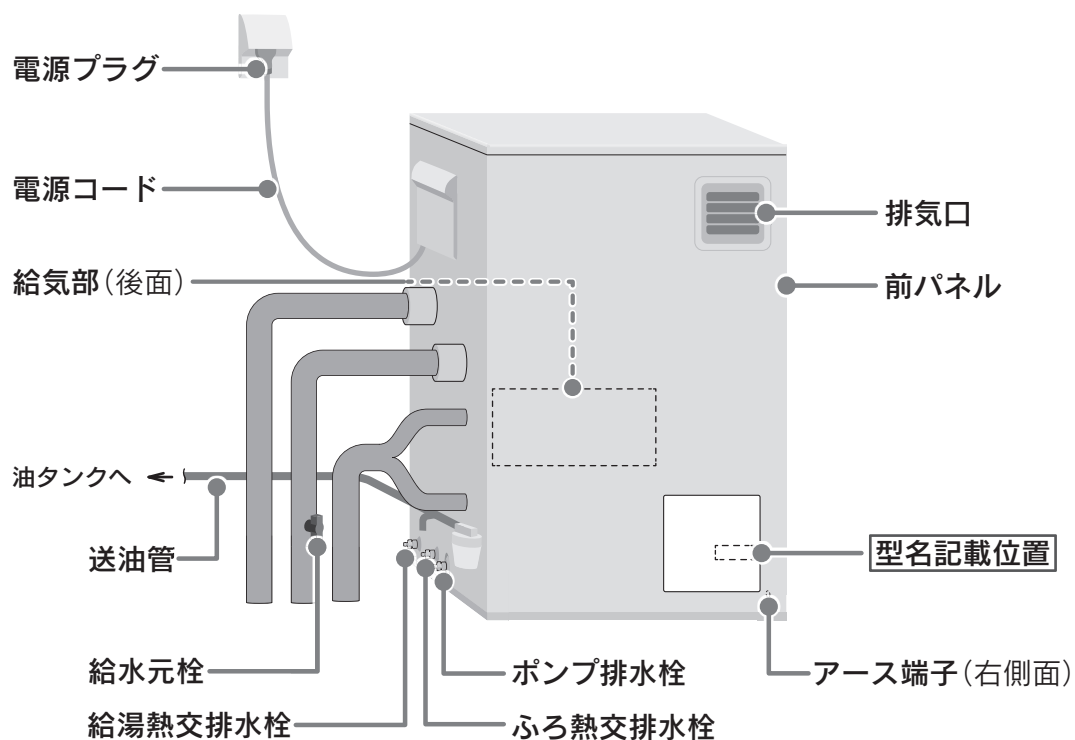


使用前に

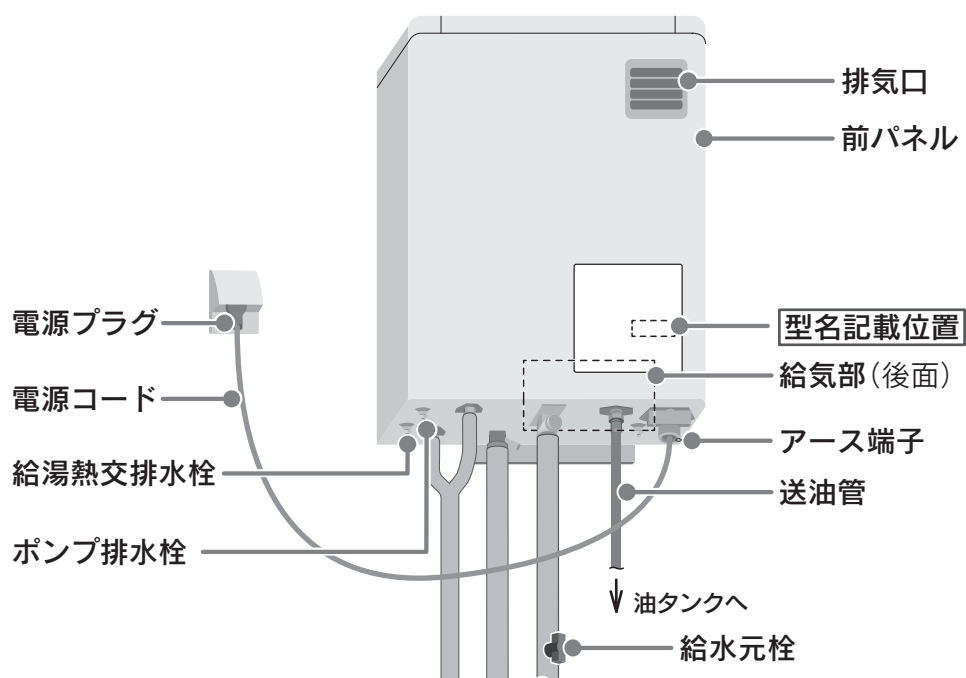
必要ときに

各部の名称

前面排気タイプ(屋外設置) 床置型

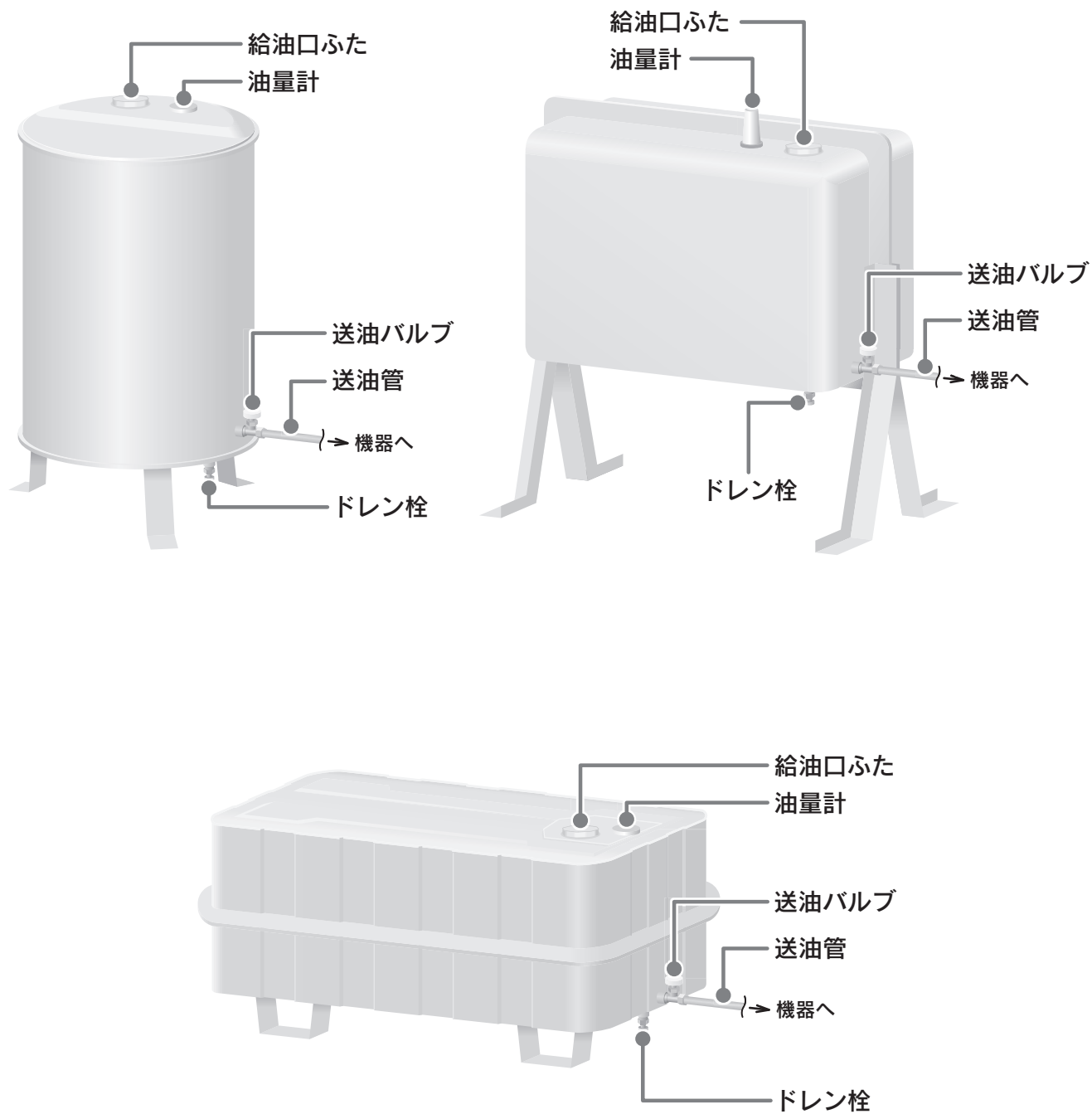


前面排気タイプ(屋外設置) 壁掛型



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



ご使用前の準備と確認

燃料

⚠ 警告

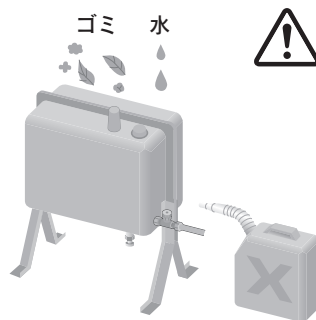
- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他の物が混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

⚠ 注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに灯油の残量を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- 燃料切れをしたときは、リモコンに「111」「112」または「121」「122」のエラーコードを表示します。**52～55ページ**
給油後にリセットをして給湯栓を開けると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。
(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「111」「112」または「121」「122」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセットをして給湯栓を開ける操作を行ってください。)
- リセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行っても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
リセットをして給湯栓を開ける操作を約8回繰り返すと、リモコンに「130」のエラーコードを表示してお客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから、再度「入」にします。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取り付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。
- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。

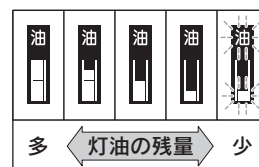
OC-5を取り付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 灯油の残量が少なくなると油面計の1段目が点滅するとともに、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定方法は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。

例 音声リモコン



油面計



は点滅を表します。

OC-31を取り付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(油面計は表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

例 音声リモコン



エラーコード

点火前の準備と確認

1 機器および周囲を確認する

機器・排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすい物や引火性危険物、排ガスによって悪影響を受ける物を置かないでください。

12・13ページ

排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。 41・42ページ

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れしていないことを確認してください。

5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100V専用です。AC200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒・拡散排気筒を確認する

排気筒・拡散排気筒の接続部に緩みやはずれがないことを確認してください。
緩みやはずれがあるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

7 循環口フィルタを確認する

お風呂に循環口フィルタが取り付けられていることを確認してください。



次ページへ続く

ご使用前の準備と確認

8 設置後はじめて使用するとき…

フルオート・オートの場合 2ページ

おふろが空の状態でする自動を行う

おふろの排水栓が閉まっていることを確認してください。

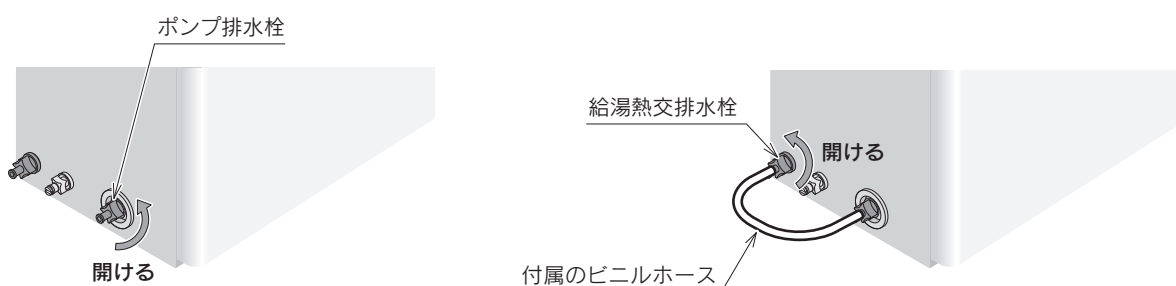
フルオート・オート以外の場合 2ページ

循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行う

・ 機器の排水栓を利用する方法

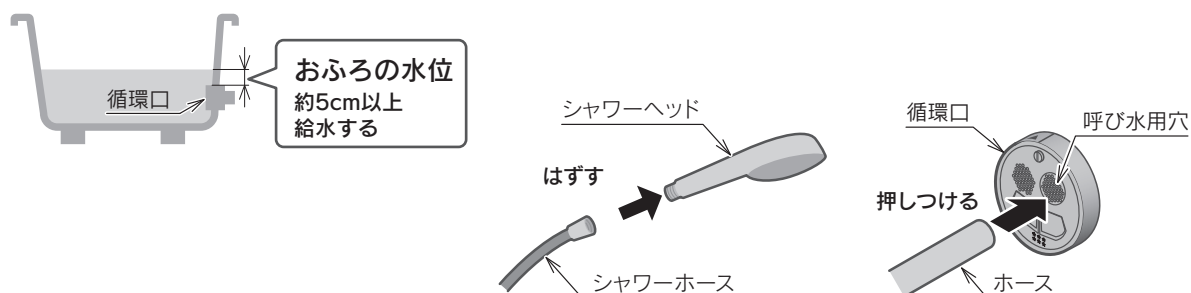
1. 機器側面のポンプ排水栓を反時計回りに3周緩めます。
2. ポンプ排水栓と給湯熱交排水栓に付属のビニルホースを接続します。
3. 水がビニルホース内を給湯熱交排水栓からポンプ排水栓へ向かって流れるまで、給湯熱交排水栓を反時計回りに緩めます。
4. 水が流れた状態で約1分間呼び水をします。
5. 給湯熱交排水栓、ポンプ排水栓の順に閉め、ビニルホースをはずします。
 - ・ ビニルホース内に残っている水がこぼれないように注意してはずしてください。
 - ・ ビニルホースは「水抜き後の再使用のとき」に必要となりますので、大切に保管してください。 30・31ページ

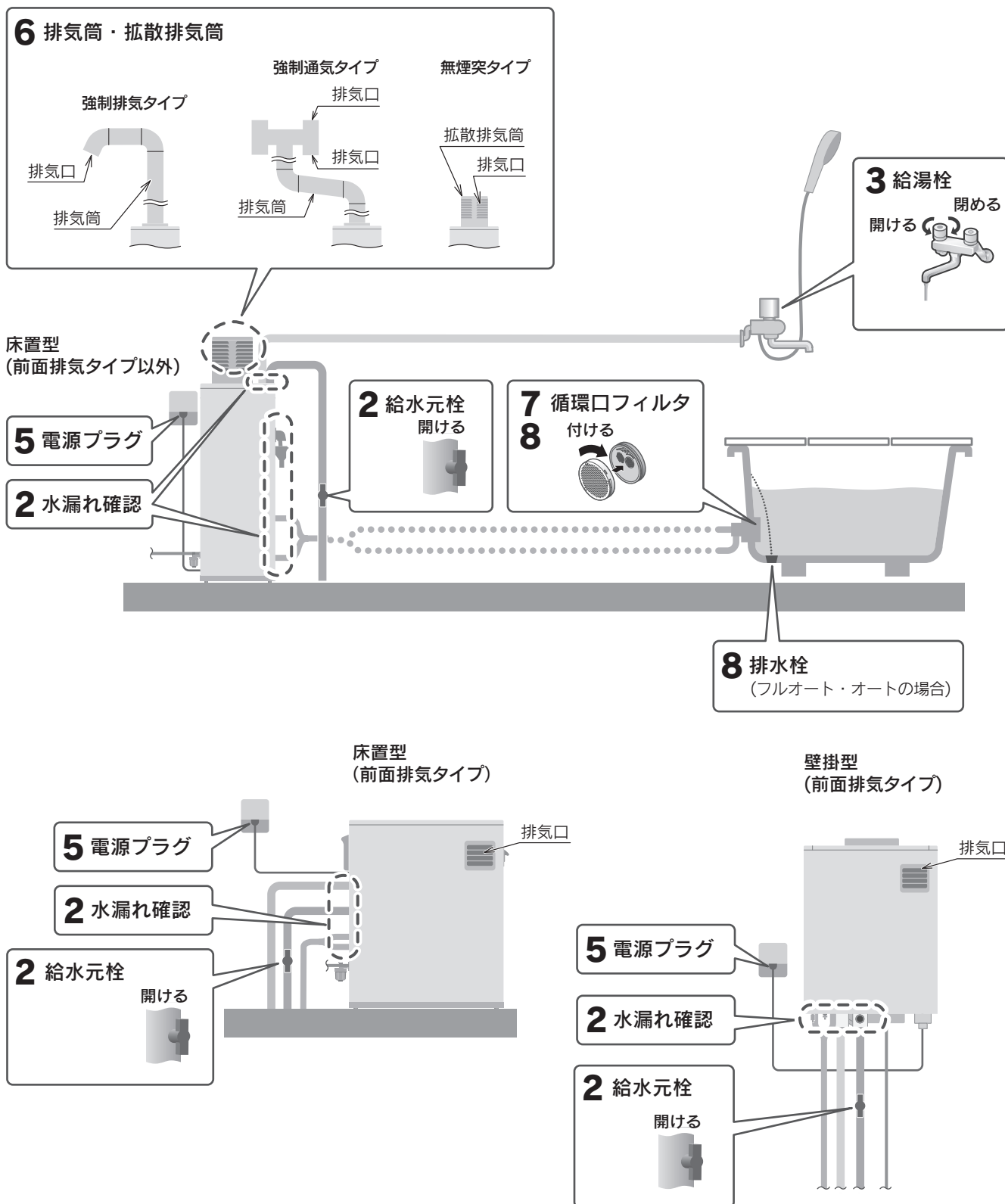
左側面



・ 浴そうの循環口を利用する方法

1. おふろの循環口上部から約5cm以上給水します。
2. 循環口フィルタをはずします。
3. じゃ口(シャワーヘッド)にホースをつないで、ホースの先端を循環口の呼び水用穴に押しつけ、給水栓を開けて給水します。循環口から空気が出なくなれば、空気抜き(呼び水)は完了です。
 - ※じゃ口(シャワーヘッド)にホースをつなげられない場合は、シャワーヘッドをはずしたシャワーホースを利用してください。
 - また、設置条件などにより呼び水ができない場合は一口循環口付属の説明書をご覧ください。
4. 循環口フィルタを取り付けます。





お知らせ

- フルオート・オート以外の場合は、一度空気抜き(呼び水)を行うと循環ポンプから水を抜くまで、空気抜き(呼び水)は必要ありません。
- フルオート・オート以外の場合は、循環ポンプの空気抜き(呼び水)をしないで追いだき運転やふろ保温運転を行うと、おふろが沸き上がらなかったり、循環ポンプが故障したりする原因になります。

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- ふろ配管も凍結を予防するために、必ず保温してください。
- バックアップ電源ユニットを接続して、バックアップ運転を行っているときは凍結予防装置が作動しません。
凍結のおそれがあるときは、使用後に「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

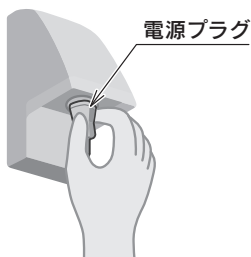
凍結予防

凍結予防には「凍結予防装置による方法(自動)」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

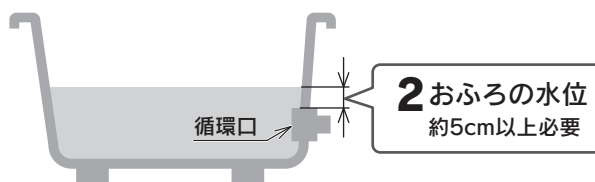
凍結予防装置による方法(自動)

外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。
また、お風呂の水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する



2 お風呂の水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので、必ず保温材や凍結予防ヒータで保温してください。
- お風呂に水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は凍結予防ができません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。
- 凍結予防装置は、リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- 停電の場合は、凍結予防装置が作動しません。停電するおそれがあるときは、「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、「凍結予防装置による方法(自動)」に加えて、じゃ口から少量の水を流して、給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。
また、お風呂の水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する

2 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

3 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

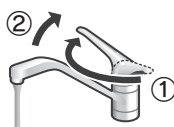
①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける

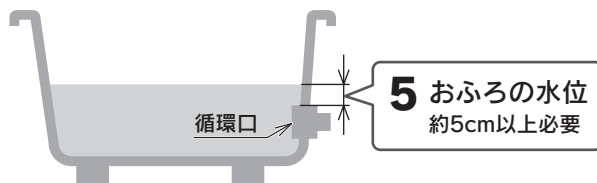


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

5 お風呂の水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する



お知らせ

- 水を流すじゃ口は屋内の1箇所です。お風呂に水をためると洗濯などの雑用水として使用できますので無駄になりません。(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り替えてお風呂に流してください。)
- お風呂に水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は凍結予防ができません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

冬の凍結による破損防止について

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときやじゃ口から水を流さずに電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

- 機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。
熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。

フルオート・オートの場合 2ページ

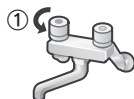
1 おふろの水を排水する

2 給水元栓を閉める

3 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

開けた給湯栓は再使用する時まで開けたままにしてください。

- 2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける



- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける



- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 水フィルタ(※1)またはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓(※2)・給湯熱交排水栓をはずす(※3)

5 リモコンの運転スイッチを「入」にする

6 リモコンのふろ自動スイッチを押す

7 リモコンの追いだきスイッチを押す

循環口から水が出なくなるまで、ふろ配管内の水を排水します。

8 リモコンの運転スイッチを「切」にする

9 2分間以上経過してから電源プラグを抜く



10 ポンプ排水栓をはずす(※3)

機器より浴そうが高い場合や鳥居配管がある場合は、ふろ配管の排水栓も開けてください。
水抜き終了後、水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓は、次にお使いになるまでははずしたままにしてください。

(はずした部品は、なくさないように注意してください。
また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓のOリングを傷つけたりしないように注意してください。)

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

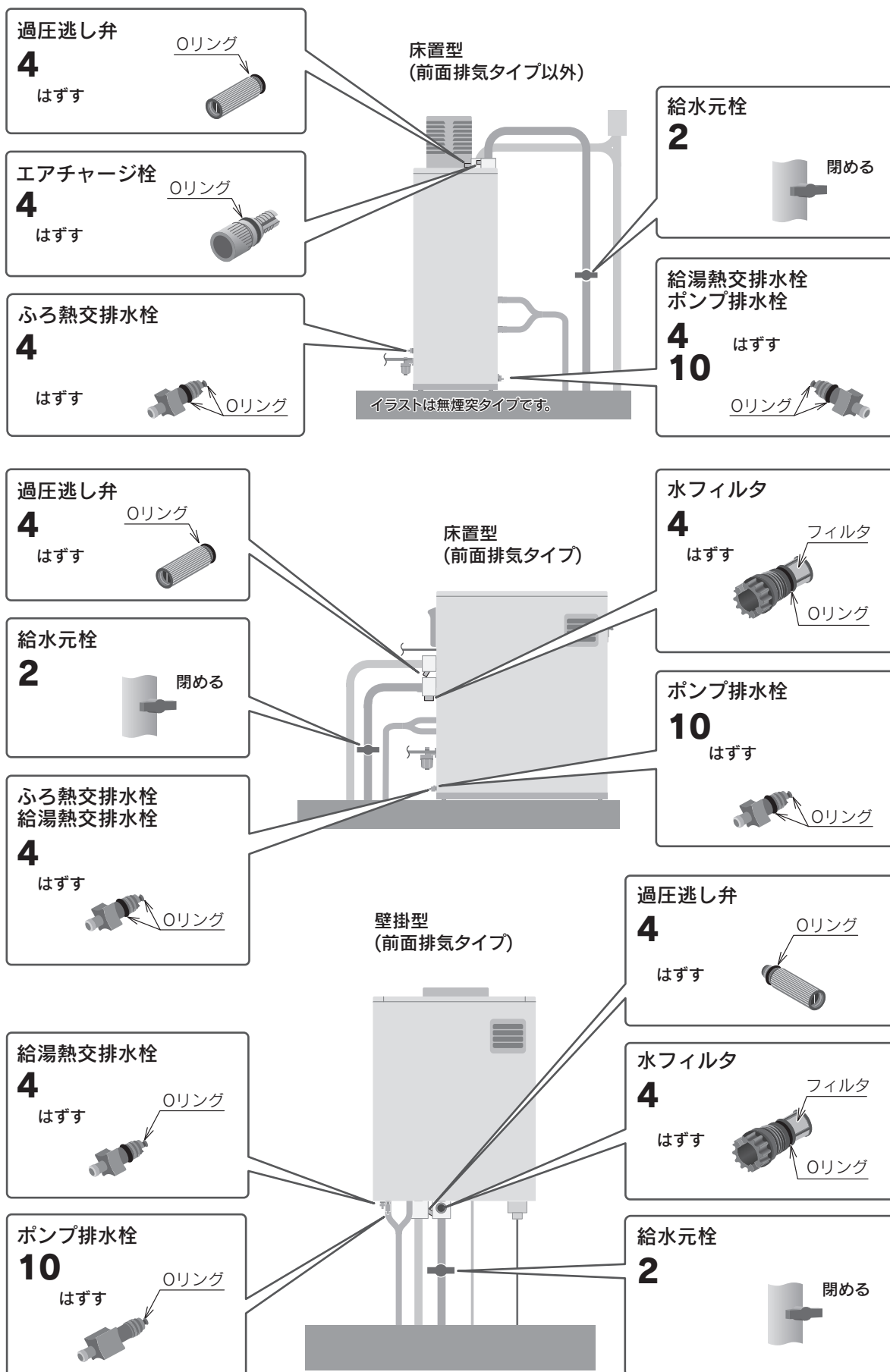
水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

※2 床置型のみ。

※3 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

お知らせ

- 停電中はリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。
- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」を参照してください。 30・31ページ
- 再使用するときは、おふろに水を入れしないでください。



冬期の凍結による破損防止について

フルオート・オート以外の場合 **2ページ**

1 おふろの水を排水する

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 リモコンの追いだきスイッチを押す

循環口から水が出なくなるまで、ふろ配管内の水を排水します。

4 リモコンの運転スイッチを「切」にする

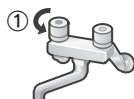
5 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

6 給水元栓を閉める

7 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

開けた給湯栓は再使用するときまで開けたままにしてください。

- 2ハンドル混合水栓
- ①給湯栓を開ける



- シングルレバー混合水栓
- ①湯側いっぱいに戻す
- ②給湯栓を開ける



- サーモスタット付混合水栓
- ①最高温度にする
- ②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

8 水フィルタ^(※1)・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓をはずす^(※2)

水抜き終了後、水フィルタ・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓は、次にお使いになるまですずしたままにしてください。

（はずした部品は、なくさないように注意してください。
また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタ・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓のOリングを傷つけたりしないように注意してください。）

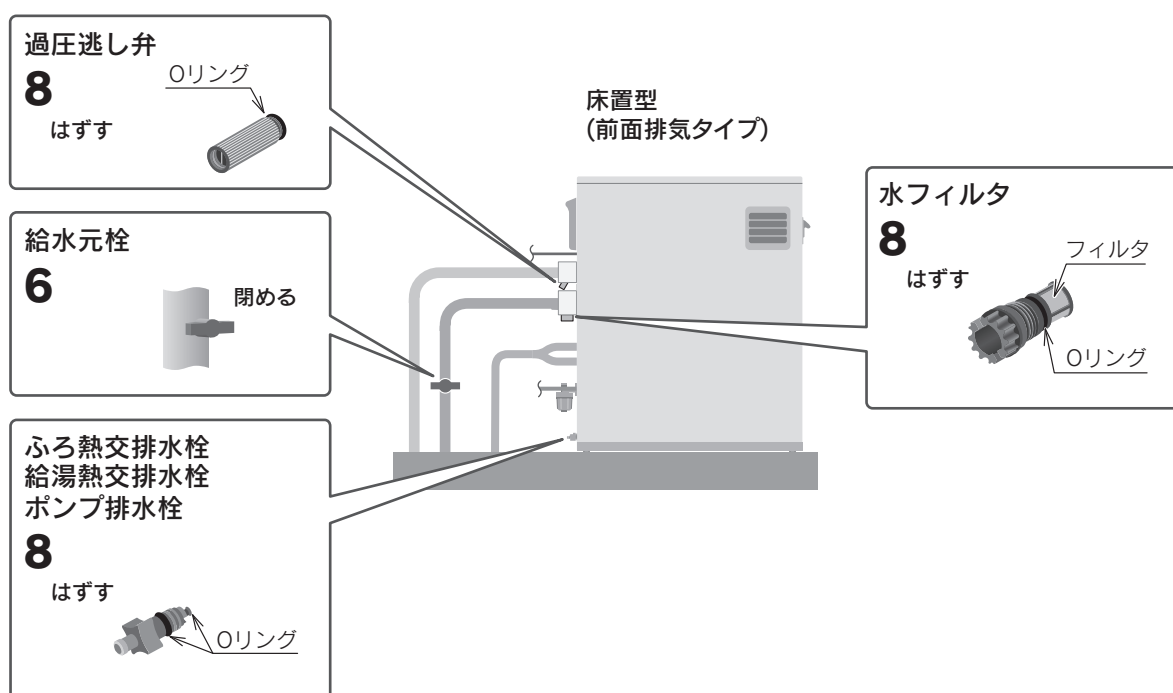
※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

お知らせ

- 停電中はリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。
- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」を参照してください。 **30・31ページ**
- 再使用するときは、おふろに水を入れないでください。



冬期の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 水フィルタまたはエアチャージ栓・過圧逃し弁・ふろ熱交排水栓・給湯熱交排水栓・ポンプ排水栓を取り付ける

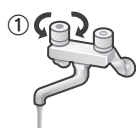
2 給水元栓を開ける

3 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 電源プラグを差し込む



5 「点火前の準備と確認」(21～23ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

過圧逃し弁

1

取り付ける

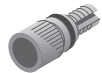


床置型
(前面排気タイプ以外)

エアチャージ栓

1

取り付ける



ふろ熱交排水栓

1

取り付ける



給水元栓

2

開ける



給湯熱交排水栓
ポンプ排水栓

1

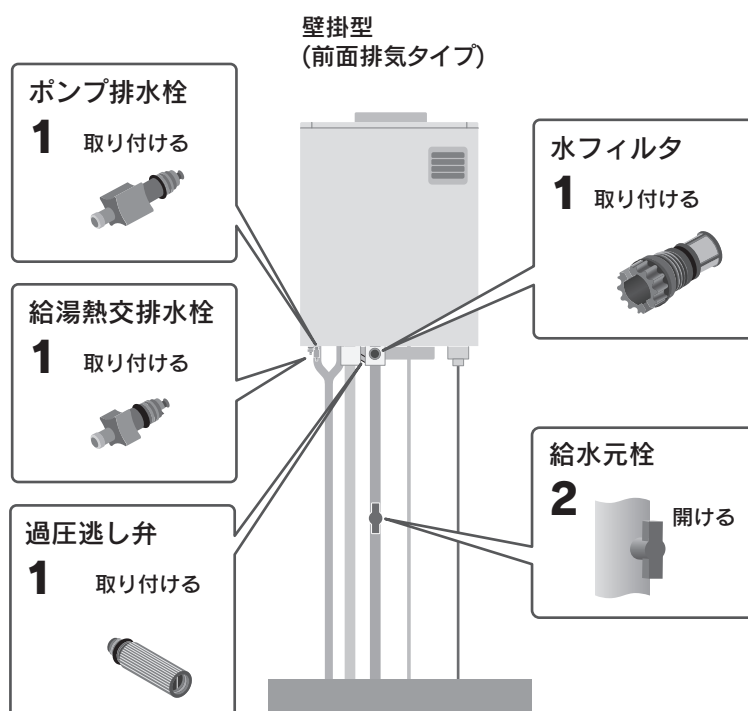
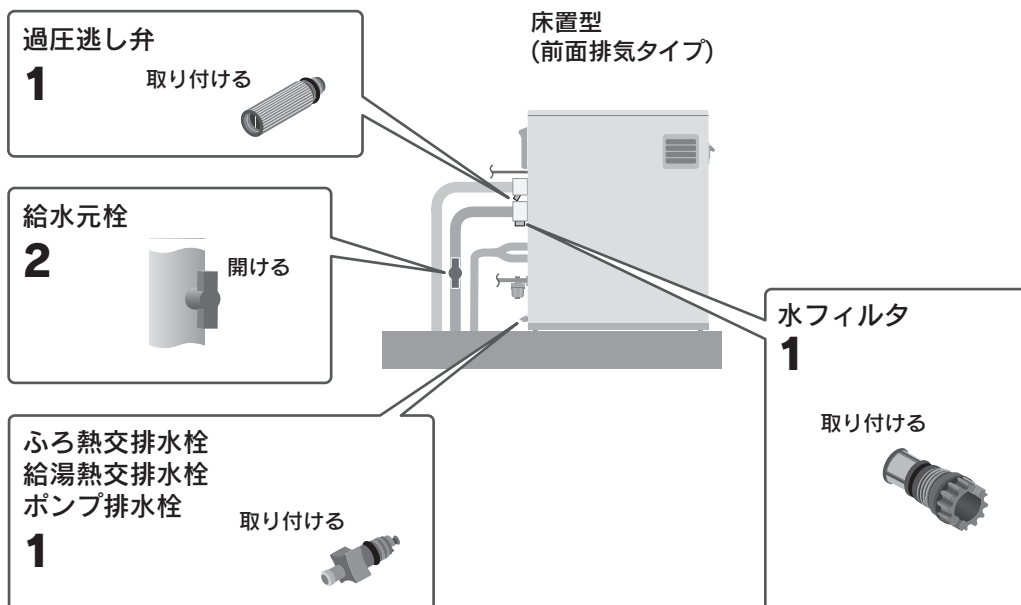
取り付ける



イラストは無煙突タイプです。

お知らせ

- 凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「651」「661」を表示することがあります。 53～55ページ
- 氷点下が長時間続いたときに、再通電時にふろ自動を行うとエラーコード「562」を表示することがあります。
リモコンの運転スイッチを「切」にしてリセットして、再度ふろ自動を行ってください。



冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 ときどき、給水元栓を開けてから給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度給湯栓を開けてください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

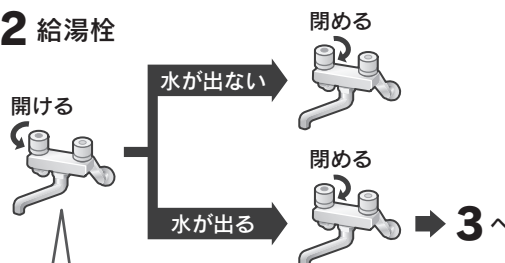
3 すべての混合水栓の給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

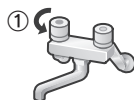
水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

4 「点火前の準備と確認」(21～23ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

2 給湯栓



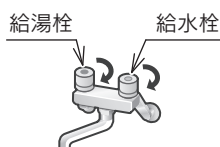
- 2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける
- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける
- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける



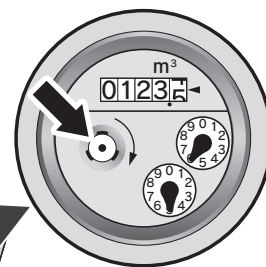
イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 閉める

回っていないこと



水道メーター



イラストはイメージです。

●このページは空白です。

冬の凍結による破損防止について

強制ふろ凍結予防運転

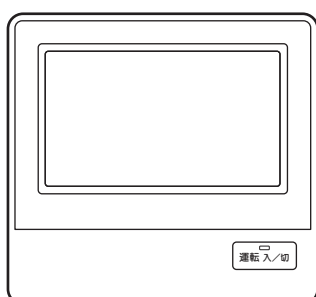
通常の凍結予防運転ではふろ配管の凍結を予防することができないときに行ってください。
(暖かい脱衣所などに機器を設置し、ふろ配管が通る床下が氷点下になるおそれがあるとき)
ふろ配管の凍結を予防するため、強制的に循環ポンプの断続運転を行います。

強制ふろ凍結予防機能の設定

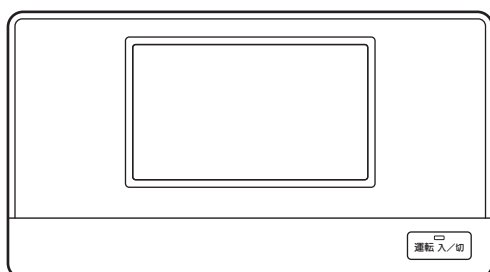
「強制ふろ凍結予防機能」を「有効(on)」にして、「強制ふろ凍結予防運転を行うときは」**37～39ページ**で「する(on)」に設定することで強制的に循環ポンプの断続運転を行い、凍結を予防します。

タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面にを表示していない場合は、を押して表示させてください。

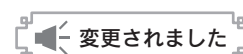
1 を押す

2 を押して「時刻・その他設定」を押す

(**2**の操作は台所リモコンのみ)

3 を押して「強制ふろ凍結予防機能」を押す

4 「有効」を押す



お買い求め時
無効

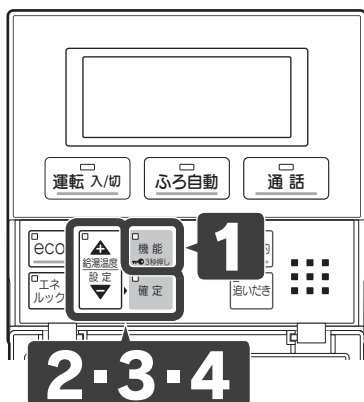
を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

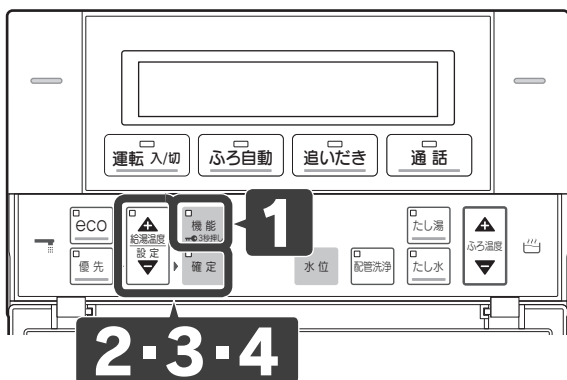
- 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、「無効」に設定してください。

インターホンリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1

機能 を押す

2

または を押して「時刻・その他設定」を選び 確定 を押す

(2の操作は台所リモコンのみ)

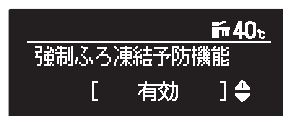
3

または を押して台所リモコンの場合は「強制ふろ凍結予防機能」、浴室リモコンの場合は機能設定番号「26」を選び 確定 を押す

4

または を押して台所リモコンの場合は「有効」、浴室リモコンの場合は「on」(有効)を選び 確定 を押す

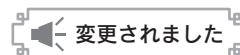
台所リモコン



浴室リモコン



機能設定番号



お買い求め時

無効

お買い求め時

oFF (無効)

確定 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

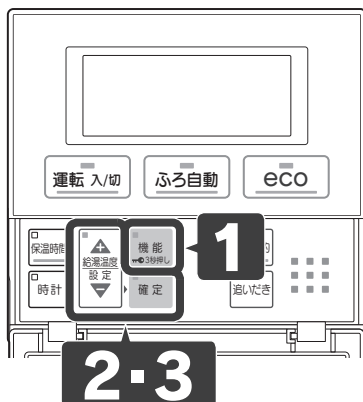
お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、台所リモコンの場合は「無効」、浴室リモコンの場合は「oFF」(無効)に設定してください。

冬の凍結による破損防止について

音声リモコンの場合

台所リモコン



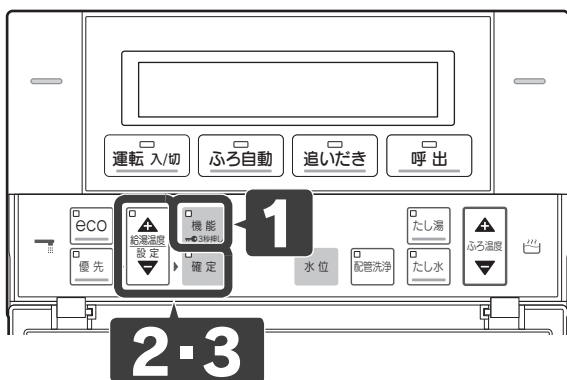
1 **機能** を押す

2 **+** または **-** を押して機能設定番号「26」(強制
ふる凍結予防機能)を選び **確定** を押す

強制ふる凍結予防の機能を設定します

3 **+** または **-** を押して「on」(有効)を選び **確定** を
押す

浴室リモコン



お買い求め時

oFF (無効)

機能設定番号

変更されました

確定 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

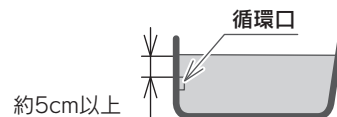
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。
- 誤操作による運転を防止したいときは、「oFF」(無効)に設定してください。

強制ふろ凍結予防運転を行うときは

強制ふろ凍結予防機能の設定を「有効(on)」にしていないときは運転することができません。 34～36ページ

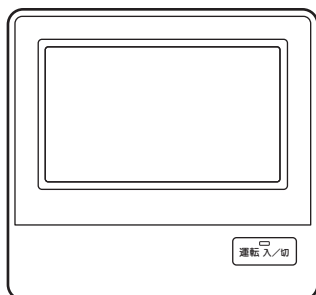
必要なこと

おふろの水位が循環口上部から約5cm以上必要です。

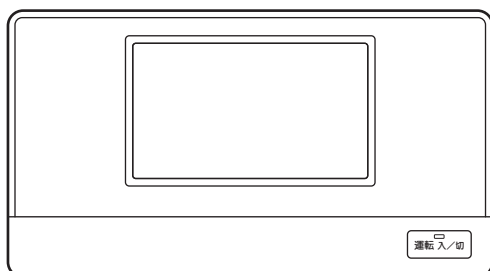


タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面に「メニュー」を表示していない場合は、を押して表示させてください。

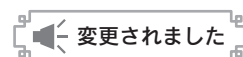
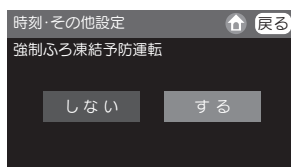
1 を押す

2 を押して「時刻・その他設定」を押す

(**2**の操作は台所リモコンのみ)

3 を押して「強制ふろ凍結予防運転」を押す

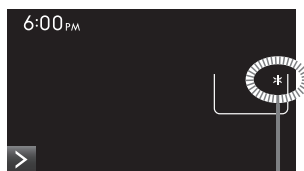
4 「する」を押す



お買い求め時
しない

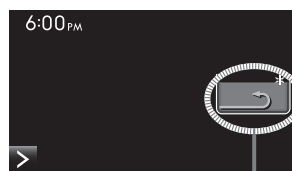
を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

循環ポンプ停止時



強制ふろ凍結予防設定中に表示
します

循環ポンプ運転時



強制ふろ凍結予防運転中に表示
します

- おふろのお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示も点灯します。

お知らせ

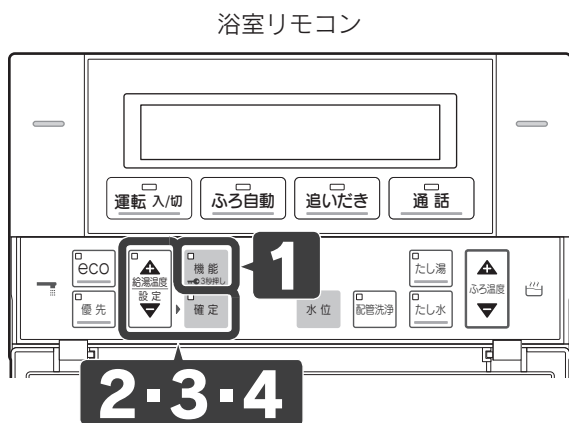
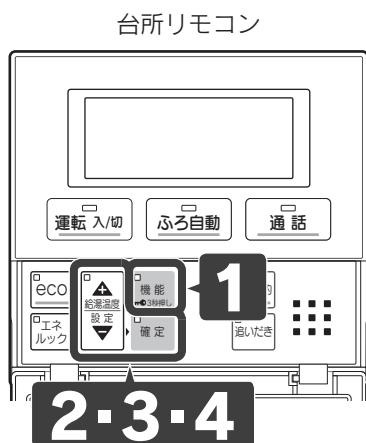
- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のためにが点滅します。停止する場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「しない」を押してください。続ける場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「しない」を押しての点滅を解除してから、再度メニューから「強制ふろ凍結予防運転」の設定で「する」を押して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

強制ふろ凍結予防運転の停止方法

4 で「しない」を押す

冬の凍結による破損防止について

インターホンリモコンの場合



1  を押す

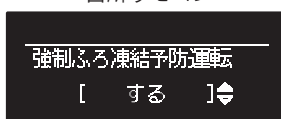
2  または  を押して「時刻・その他設定」を選び  を押す

(**2**の操作は台所リモコンのみ)

3  または  を押して台所リモコンの場合は「強制ふろ凍結予防運転」、浴室リモコンの場合は機能設定番号「27」を選び  を押す

4  または  を押して台所リモコンの場合は「する」、浴室リモコンの場合は「on」(する)を選び  を押す

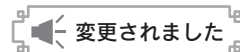
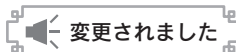
台所リモコン



浴室リモコン



機能設定番号



お買い求め時

しない

お買い求め時

oFF (しない)



を押すと通常の表示に戻ります。

(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のために  または  が点滅します。

停止する場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「しない」、浴室リモコンの場合は「oFF」(しない)を選択してください。

続ける場合は、「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「しない」、浴室リモコンの場合は「oFF」(しない)を選択して  または  の点滅を解除し、再度メニューから「強制ふろ凍結予防運転」の設定で台所リモコンの場合は「する」、浴室リモコンの場合は「on」(する)を選択して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

循環ポンプ停止時

台所リモコン



浴室リモコン



強制ふろ凍結予防設定中に表示します

循環ポンプ運転時

台所リモコン



浴室リモコン

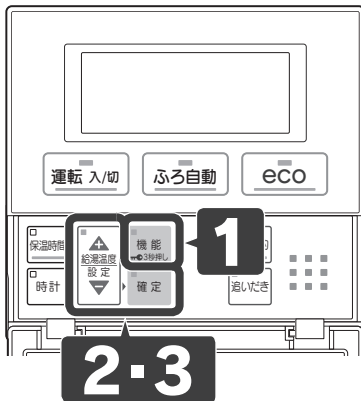


強制ふろ凍結予防運転中に表示します

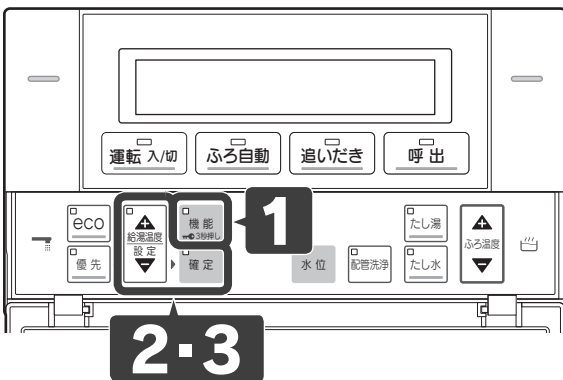
- おふろのお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示も点灯します。

音声リモコンの場合

台所リモコン



浴室リモコン



1 機能を押す

2 + または - を押して機能設定番号「27」を選び
確定を押す

強制ふろ凍結予防運転を設定します

3 + または - を押して「on」(する)を選び
確定を押す



機能設定番号

変更されました

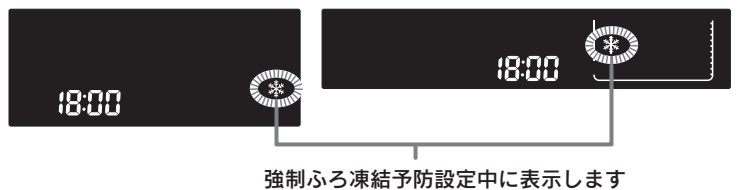
お買い求め時
oFF(しない)

確定を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

ご使用の前に

必要なときに

台所リモコン 循環ポンプ停止時 浴室リモコン



強制ふろ凍結予防設定中に表示します

循環ポンプ運転時
浴室リモコン



強制ふろ凍結予防運転中に表示します

- お風呂のお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。
- 循環ポンプ運転時は循環表示も点灯します。

お知らせ

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、解除されます。
- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。
- 強制ふろ凍結予防運転が連続で180日間続くと、切り忘れ防止のために❄️が点滅します。
停止する場合は、**3**の設定で「oFF」(しない)を選択してください。
続ける場合は、**3**の設定で「oFF」(しない)を選択して❄️の点滅を解除し、再度メニューから**3**の設定で「on」(する)を選択して強制ふろ凍結予防運転を開始してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行ってください。 [26～29ページ](#)

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部には十分に注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

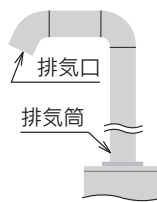
点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

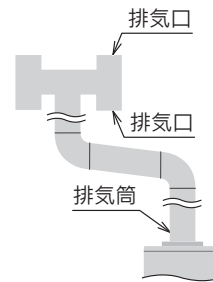
排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒・拡散排気筒の接続部に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

強制排気タイプ



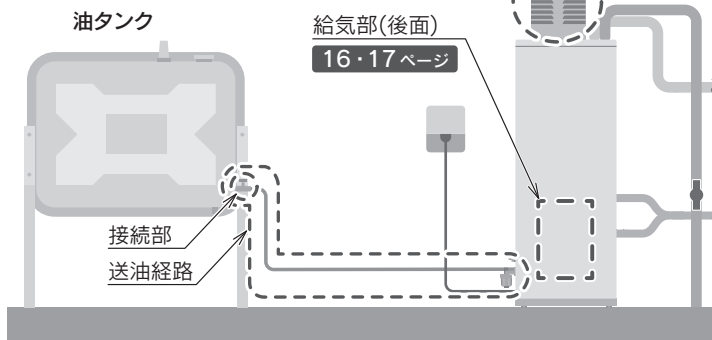
強制通気タイプ



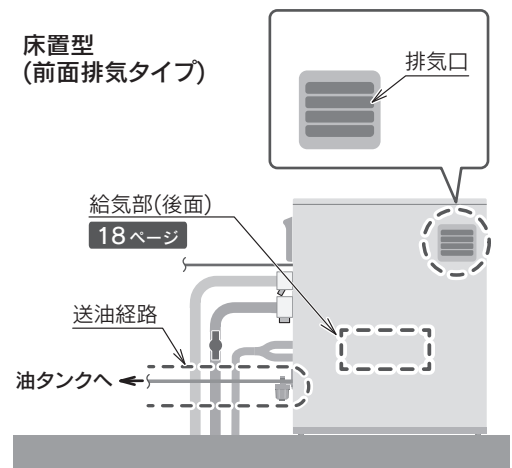
無煙突タイプ



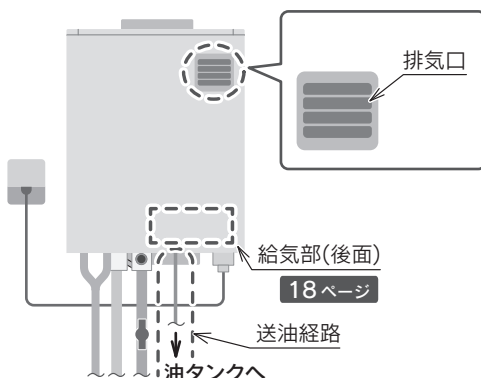
床置型
(前面排気タイプ以外)



床置型
(前面排気タイプ)



壁掛型
(前面排気タイプ)



日常の点検・手入れ

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすい物がないことを確認してください。

機器外観

●排気口・給気部

ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。

●外装

部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

●水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。

●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。

印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。

また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

配管クリーン

(フルオート・オートの場合 **2ページ**)

ふろ配管内に残っている残り湯を洗い流します。

リモコン取扱説明書参照

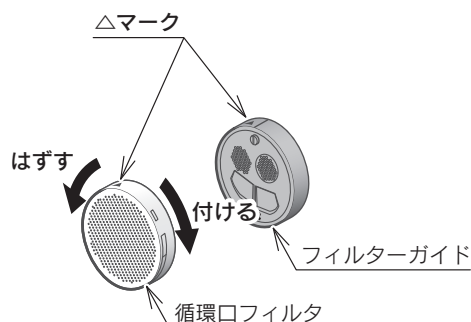
循環口フィルタの掃除

循環口フィルタを左に回し、手前に引いてはずしてください。

歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。

掃除終了後は、フィルターガイドの△マークに循環口フィルタの△マークを合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定してください。

※循環口フィルタは必ず取り付けてください。



適時に

水フィルタの掃除 (前面排気タイプ以外の場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。2ページ)

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除してください。



警告

- 機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する ※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけたりしないように注意してください。

水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

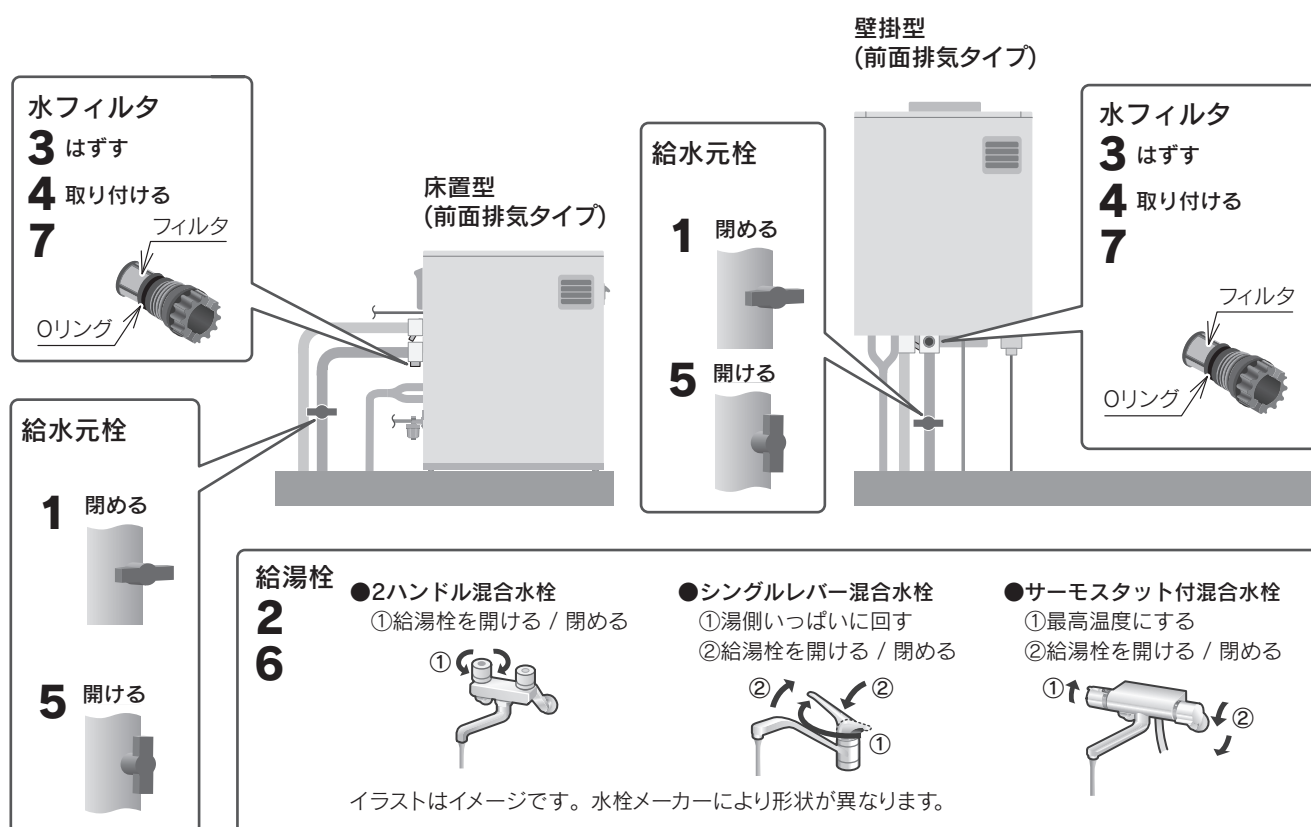
4 水フィルタを元通りに取り付ける

5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する



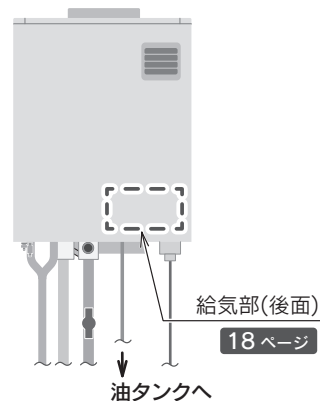
日常の点検・手入れ

1年に1回以上

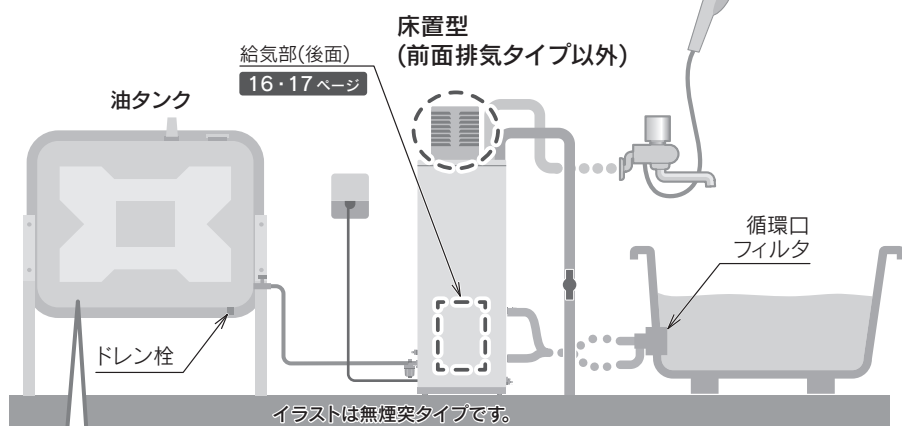
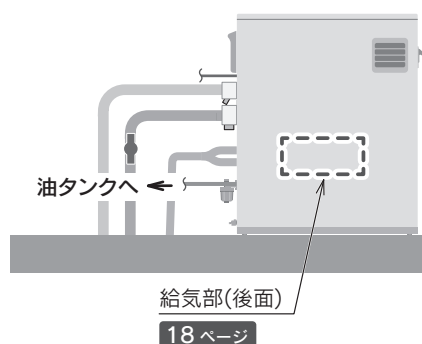
ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

壁掛型 (前面排気タイプ)

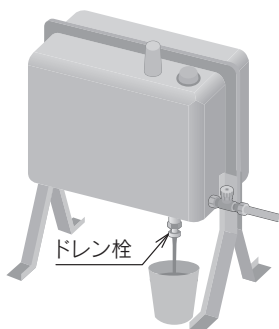


床置型 (前面排気タイプ)



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。
ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

(強制排気タイプ・強制通気タイプの場合 2 ページ)

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。
交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

配管洗浄 (フルオート・オートの場合 2 ページ)

別売の配管洗浄剤を使用してふろ配管を掃除してください。リモコン取扱説明書参照

1年に1回以上

ふろ熱交換器の掃除（フルオート・オート以外の場合 **2ページ**）

熱交換器に湯あかがたまるとおふろの沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

1 おふろの水位が循環口上部から約5cm以上になるまで水を入れ、配管洗浄剤を入れてよく溶かす

おふろの残り湯を使用する場合は、お湯の温度が常温になってから行ってください。

※配管洗浄剤は別売の強制循環式風呂釜用を使用してください。配管洗浄剤の使用方法をよくお読みください。

2 リモコンの運転スイッチを「入」にし、ふろ温度を48℃に設定する

3 リモコンの追いだきスイッチを押す

ふろ温度まで沸き上げます。

4 追いだき終了後、おふろのお湯を抜く

おふろのお湯が熱くなっていますのでやけどに注意してください。

5 ふろ温度を通常使用する温度に戻す

6 泡が出なくなるまでお湯を入れ替えながら追いだきを繰り返す

※ふろ温度を48℃に設定する必要はありません。通常使用するふろ温度で追いだきしてください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
なお、フルオート・オートの場合、給水用具（逆流防止装置）に関しては（公社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
（定期点検は有料です。）

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
（製品の所有者などの責務：消安法第32条の14）
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入の上、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

シャワーやじゃ口	こんなときは	確認してください
	お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 32ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない	● 油タンクの送油バルブは開いていますか。 ● 燃料切れしていませんか。給油してください。 20ページ ● 給湯栓をもう少し開けてください。じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最少の流量は、毎分約2.5リットルです。
	お湯の出が悪い	● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● ふろ自動中など、シャワーやじゃ口以外でお湯を使用しているときは、シャワーやじゃ口から出るお湯の量が少なくなることがあります。 ● 水フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 43ページ ● 給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 ● サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高く設定するとシャワーの勢が強くなります。 ● ECOスイッチを「入」にしていると、ECO機能が作動し出湯量が減ることがあります。 リモコン取扱説明書参照
	お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 20ページ ● 給湯栓を絞りすぎると(毎分約2.5リットルより少ない場合)点火しないことがあります。 ● 安全装置の作動が考えられます。 51ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」を参照して処置を行ってください。 52～55ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「111」・「112」・「121」・「122」・「130」・「510」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 異常過熱防止装置の場合 「150」・「160」・「590」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	停電後、復帰したのにお湯が出ない	● 停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した給湯温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定した給湯温度よりも低くなる場合があります。 ● サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。 ● 1箇所の混合水栓のみお湯の温度が設定した給湯温度にならないときは、混合水栓の故障が考えられます。 ● お湯使用中に追いだきをする、シャワーやじゃ口のお湯がぬるくなる場合があります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	● お湯を出したり止めたりを繰り返していませんか。 ● 2箇所以上でお湯を使用していませんか。 ● 水道の圧力が変動していませんか。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
	高温のお湯が出ない	● リモコンの給湯温度の設定が低くなっていませんか。
	給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切り替えてください。
	お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

おふろ	通常にくらべお湯はりに時間がかかる	● お湯はり時間は給水温度の違いによって、夏期は短く冬期は長くなります。 ● 残り湯があるときや、お湯はり中にシャワーやじゃ口のお湯を使用したときは、お湯はりを中断するため沸き上げ時間が長くなることがあります。(※1)
	お湯はりが予約時刻に終了しない(※1)	● 現在時刻が合っていることを確認してください。 ● 残り湯の状態・水圧・給水温度などの条件により前後します。
	ふろ予約が解除された(※1)	● 停電すると、ふろ予約が解除されます。
	おふろの温度やお湯の量が設定通りにならない	● ふろ保温を中止したとき、たし湯やたし水をしたとき(※1)は、おふろの温度が低くなったり、お湯の量が多くなったりすることがあります。 ● お湯はり中にリモコンのふろ温度の設定を変更すると、変更した温度より高くなることがあります。(※1) ● 残り湯がある状態でふろ自動をすると、ふろ水位が変わることがあります。 ● お湯はり終了前に入浴していませんか。(※1) ● 循環口フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 42ページ ● 循環口フィルタが確実に取り付けられていますか。
	おふろに関する動作中以外でおふろの水位が上昇する	● 機器の故障が考えられます。給水元栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	お湯はり中に循環口からお湯が出たり止まったりする(※1)	● 機器がお湯の温度や量を確認しているためです。故障ではありません。
	循環口から泡が出る	● ふろ配管内に残っていた空気や水中に溶けていた空気が気泡になって出てくるためです。
	循環口から水が出る	● ふろ自動(※1)・ふろ保温・たし湯(※1)・追いだきの開始直後は、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 ● 外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプが作動して、配管内に残っている水が出てくる場合があります。 ● ふろ自動終了後、おふろの排水栓を抜くと配管クリーン(自動)が作動して循環口からお湯が出ます。(※2) リモコン取扱説明書参照
	追いだきやふろ保温中に燃焼表示が表示したり、消えたりを繰り返すことがある	● 機器がおふろの温度を調節しているためです。異常ではありません。
	追いだきやふろ保温ができない 追いだきやふろ保温が途中で停止する	● おふろの循環口上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ● 循環口フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 42ページ ● 断水しているときは追いだきやふろ保温はできません。 ● 循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行っていますか。(※3) 22・23ページ
	お湯はりやたし湯が中断する(※1)	● お湯はり中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりやたし湯を中断することがあります。
	たし水が中止された たし水しない(※1)	● たし水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用したときや追いだき・たし湯をしたときは、たし水を中止します。 ● お湯を使用しているときは、たし水を受け付けません。
	たし水中に燃焼した	● 次にお湯を使用するときに冷たい水が出ることを予防するため、たし水が終了する前に燃焼します。

	こんなときは	確認してください
おふろ	浴そうのお湯(水)が青く見える	● 光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	● 配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。(使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。)
	ふろ自動や追いだきを始めるとにごったお湯が出る(※1)	● 入浴剤を使用した後は、配管クリーンをしないと配管内の残り湯が混入し、にごったお湯が出ることがあります。特ににごり系の入浴剤を使用した後は目立ちます。 ● 1年に1回以上は配管洗浄を行ってください。リモコン取扱説明書参照 フルオート・オート以外の場合は「ふろ熱交換器の掃除」を行ってください。45ページ
	配管クリーンをしない(※1)	● ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水中は、配管クリーンを受け付けません。リモコン取扱説明書参照 ● シャワーやじゃ口でお湯を使用中に配管洗浄スイッチを押すと、お湯の使用が終了してから配管クリーンを行います。
	配管洗浄や配管クリーンが中断する(※1)	● すすぎ(配管内にきれいなお湯を流す)中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、配管洗浄や配管クリーンは一時中断します。
	配管洗浄をしない(※1)	● 残り湯がおふろの循環口上部から約5cm以上ないときは、すすぎ(配管内にきれいなお湯を流す)のみを行います。リモコン取扱説明書参照 ● ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水中は、配管洗浄を受け付けません。リモコン取扱説明書参照 ● シャワーやじゃ口でお湯を使用中に配管洗浄スイッチを押すと、お湯の使用が終了してから配管洗浄を行います。
機器	排気口から湯気が出る	● 排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音がする	● 機器内の排ガスを排出するため、送風機が動いている音です。
	過圧逃し弁からお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	寒いときに機器から音がする	● 外気温が下がるとふろ配管の凍結を予防するために、循環ポンプが運転・停止を繰り返します。
	運転前や停止後に機器から音がする	● お湯の温度を調節するための部品が動いている音です。異常ではありません。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」を参照して、送油経路の空気抜きを行ってください。20ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● 安全装置(漏電ブレーカ)またはその他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。51ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	● 使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない	● チャイルドロックが設定されていませんか。リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。リモコン取扱説明書参照

故障かな？と思ったら

こんなときは	確認してください
音声案内をしない、または小さくなった	●「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ●スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。
操作音がしない、または小さくなった	●「操作音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。また、表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
表示画面の切替わりが遅い	●気温が下がると表示の切替わりが遅くなることがあります。
油面計表示が点灯しているのに油タンクに灯油がない	●灯油残量表示機能はこの機器が消費した灯油の量を算出し、油タンクにどれくらいの灯油の残量があるかを計算して表示しています。油タンクに複数の機器を接続している場合は、他の機器で消費した灯油の量を計算していないので、実際の灯油の残量を正しく表示できません。 リモコン取扱説明書参照
時計を表示しない	●現在時刻を設定してください。 リモコン取扱説明書参照
通話ができない※4	●音声ガイドが流れているときは通話できません。
通話の呼び出し音がブザー音に変わった※4	●音声ガイド音量を「00」「0」に設定すると呼び出し音がブザーに変わります。
通話をするとき「キーン」という大きな音がする（ハウリングする）※4	●浴室のドアを開けたまま通話するとハウリングが発生することがあります。また台所リモコンと浴室リモコンの取付場所が近いときもハウリングを起こすことがあります。この場合は通話音量を下げて使用してください。 リモコン取扱説明書参照 ●音量を下げてハウリングが直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
通話が途切れて会話ができない※4	●シャワー使用中やリモコンの周囲が騒々しいときは「話す」側と「聞く」側の自動切替がうまくできないことがあります。この場合はリモコンの通話スイッチを押しながら話をしてください。 ●相手が話している途中で話しかけると自動切替ができず、お互いの話が途切れて聞きとれなくなります。相手が話し終わったらリモコンに向かって話してください。 ●マイクに水滴が付くと音が伝わらないことがあります。
通話中に雑音が混ざる、または一瞬途切れる※4	●故障ではありません。機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。 ●リモコンから20cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ●ハンズフリー方式の場合、話しはじめの音声が一瞬途切れて聞こえることがあります。
スイッチが勝手に反応する※5	●リモコンの表面を布などでふくと、指での操作と誤検知してスイッチが反応することがあります。おそうじの際はタッチスイッチの設定を行ってください。 リモコン取扱説明書参照
タッチしたところと違うところが反応する※5	●1本の指で表示画面を触りながら、別の指で操作するなど、2箇所以上を同時に押した場合は、正常に作動しません。1箇所だけ押してください。 ●弱く押すと正常に反応しないことがあります。指先で強めに押してください。 ●使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じることがあります。「タッチパネル補正」でずれを調節してください。 リモコン取扱説明書参照
画面をタッチしても反応しない※5	●反応しないときは、指先で強めに押してください。 ●表示画面に市販の保護シートを貼り付けると、正常に作動しないことがあります。保護シートをはがしてください。
ふろタイマーのポップアップ画面で閉じるスイッチが押せない※5	●タッチスイッチ無効時間中にふろタイマーのポップアップ画面が出た場合、0秒になるまで閉じるスイッチは押せません。 リモコン取扱説明書参照

※1 フルオート・オートの場合
 ※2 フルオートの場合
 ※3 フルオート・オート以外の場合
 ※4 タッチパネルリモコン・インターホンリモコンの場合
 ※5 タッチパネルリモコンの場合

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常燃焼したときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたりしたときに作動して運転を停止します。
漏電ブレーカ	万一漏電したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
異常過熱防止装置	熱交換器が異常過熱したときに作動して運転を停止します。
温度ヒューズ	
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。 凍結のおそれなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
	機器内の温度が下がると、おふろの水を循環させ、機器内のふろ回路とふろ配管の凍結を予防します。 (おふろに水がない場合は、ふろ配管の凍結予防はできません。) 凍結のおそれなくなると、おふろの水の循環は停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
過圧逃し弁	熱交換器の圧力が異常上昇したときに作動して圧力を逃がします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示(※)し少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

※ 灯油の残量を表示しないタイプもあります。 21ページ

故障かな？と思ったら

エラーコード

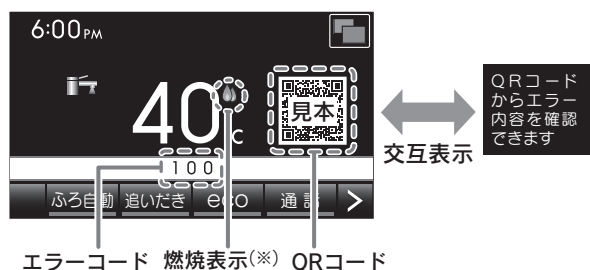
- 異常・故障の場合はリモコンにエラーコードとQRコード(※1)(※2)を表示します。
エラーコードを表示したときは、「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」(53ページ)を参照してください。また、QRコードをスマートフォンなどで読み取るとエラーコードの処置方法を調べることができるWebページが開きます。
※ 1 タッチパネルリモコン・インターホンリモコンの台所リモコンのみ
※ 2 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- エラーコードと同時に表示するQRコードは消すことができます。 **リモコン取扱説明書参照**

エラーコード・QRコード表示位置

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

※エラーコード表示中で機能停止状態の場合は燃焼表示が点滅し、警告表示(55ページ)の場合は燃焼表示の点滅はありません。

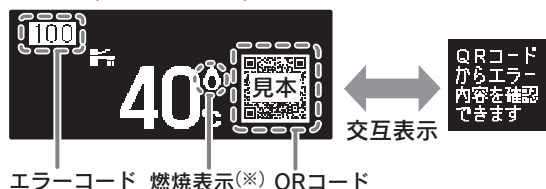
タッチパネルリモコンの場合
(台所リモコン)



タッチパネルリモコンの場合
(浴室リモコン)



インターホンリモコンの場合
(台所リモコン)



音声リモコンの場合
(台所リモコン)

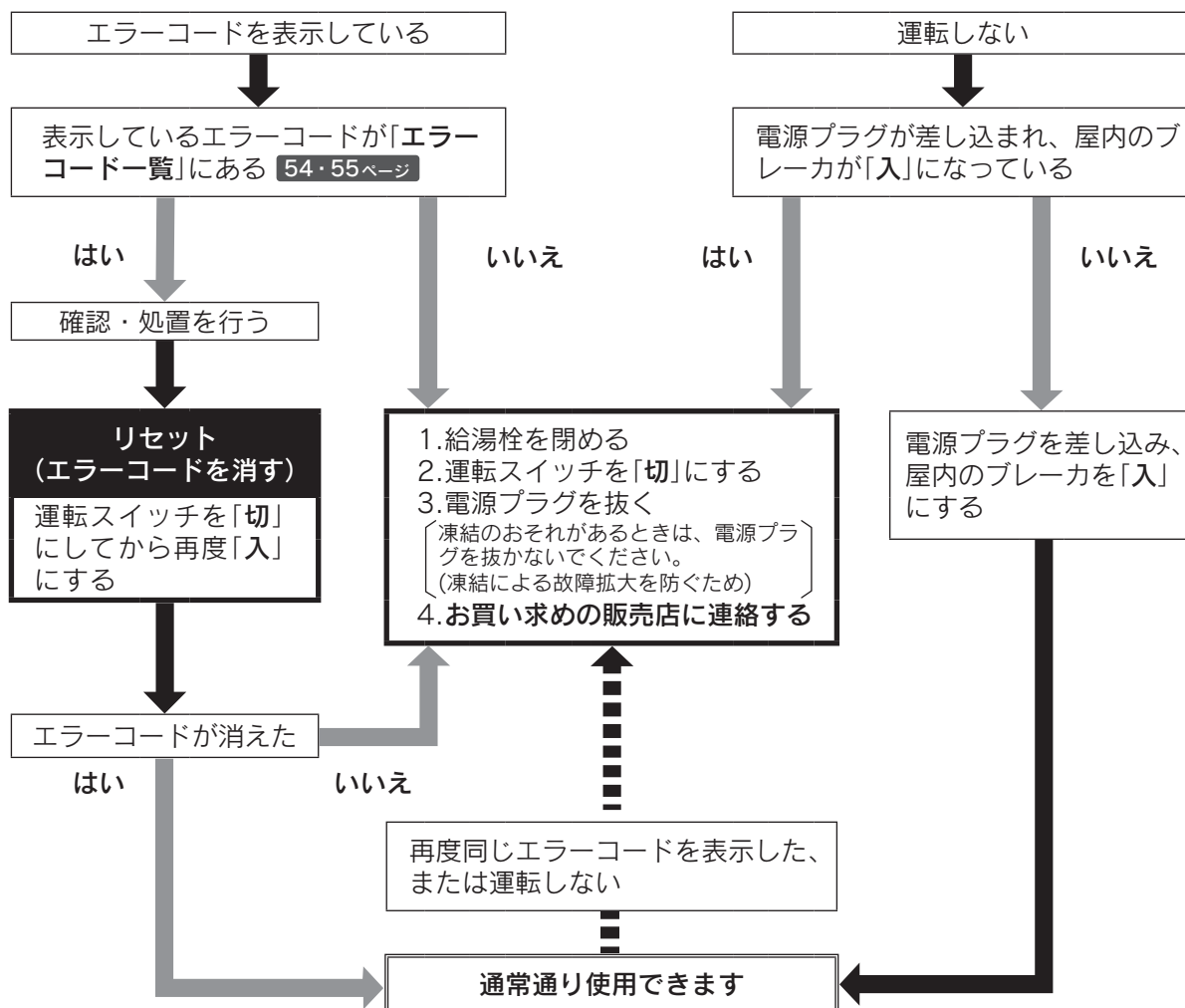


インターホンリモコン・音声リモコンの場合
(浴室リモコン)



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

● 以下の処置を行ってください。



故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

●記載していないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照 **53ページ**)

エラーコード	説 明	確 認・処 置
002 ^(※1)	初めてのふろ自動開始時におふろにお湯(水)が入っている (警告表示)	おふろのお湯(水)を一度全部抜いてから、再度ふろ自動を行ってください。 (設置後最初に行うふろ自動は、おふろにお湯(水)がない状態で行ってください。)
012	追いだき異常 (警告表示)	長時間連続で追いだきした場合に機器を停止します。 循環口フィルタにゴミなどがつまっていないことを確認してください。 42ページ シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動 ^(※1) ・ふろ保温 ^(※2) ・追いだき・たし湯 ^(※1) ・たし水 ^(※1) ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
032 ^(※1) 412 562	自動でお湯はり、たし湯やたし水ができない ^(※1) またはふろ保温 ^(※2) や追いだきができない (警告表示)	排水栓をせずにふろ自動を行うと、エラーコード「032」を表示します。 おふろの排水栓がしっかり閉まっていることを確認してください。 おふろの水位が循環口よりも上にあることを確認してください。 循環口フィルタにゴミなどがつまっていないことを確認してください。 42ページ お湯はり中や追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだきできません。 シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動 ^(※1) ・ふろ保温 ^(※2) ・追いだき・たし湯 ^(※1) ・たし水 ^(※1) ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
252 632		
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
111 112 130	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。
121 122 510	燃焼中に火が消えた	（燃料切れをしていた場合は、給油後リセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行ってください。約8回リセットをして給湯栓を開ける操作を繰り返すと、リモコンに「130」のエラーコードを表示して、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 20ページ ）
301	外気温を検知できない (警告表示)	使用できますが、凍結予防装置が作動しません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。凍結のおそれがあるときは「じゃ口から水を流す方法」を行ってください。 25ページ
411 ^(※1)	給水を検知できない (警告表示)	追いだきは使用できますが、シャワーやじゃ口でお湯を使用することはできません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 使用できますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「油切れ予告装置(OC-5)」を取り付けていないのに、エラーコード「480」が表示されたときは設定を解除してください。 56・57ページ
550 611・612 721・722	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット)
312 642	自動でお湯はり、たし湯やたし水ができない ^(※1) またはふろ保温 ^(※2) や追いだきができない (警告表示)	シャワーやじゃ口でお湯の使用はできますが、ふろ自動 ^(※1) ・ふろ保温 ^(※2) ・追いだき・たし湯 ^(※1) ・たし水 ^(※1) ・ふろ配管の凍結予防ができません。お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説 明	確 認・処 置
651	水比例弁異常 (警告表示)	機器に給水した後に給湯栓を開け、水が出ることを確認してから電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。
661	混合弁異常	
740 750 760	通信異常	電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時	油タンクに給油してください。 20ページ
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用できますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9:00~17:00 ※年末年始を除く

※1 フルオート・オートの場合

※2 フルオート・オート以外の場合

■警告表示

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

「012」「032」「562」「252」「312」「412」「632」「642」の警告表示では給湯動作は使用できますが、ふろ関連の動作は使用できません。「411」の警告表示では追いだきのみ使用できます。

運転中に誤作動したときは

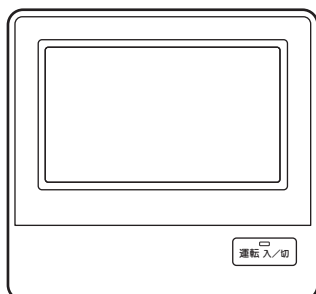
- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったりしたときは電源プラグをコンセントから抜き、5秒間以上抜いた後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

故障かな？と思ったら

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

タッチパネルリモコンの場合

台所リモコン



「かんたん画面」の場合は、を押して「標準画面」にしてください。
表示画面にを表示していない場合は、を押して表示させてください。

1

を押す

2

を押して「時刻・その他設定」を押す

3

を押して「油面計設定」を押す

4

を押して「OFF」にする

設定内容

OFF←0←2←4～116←118←120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



5

決定を押す



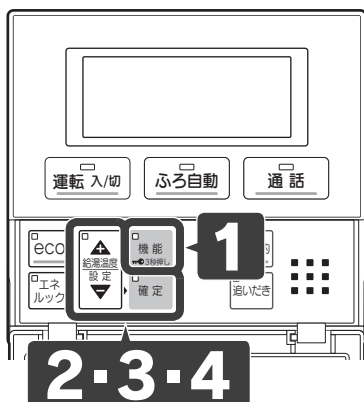
(ホームスイッチ)を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

●設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。通常の表示に戻ります。

インターホンリモコンの場合

台所リモコン

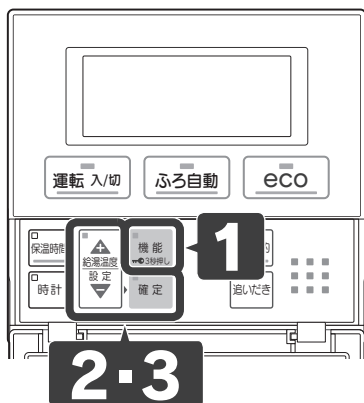


お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。

音声リモコンの場合

台所リモコン



お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。

1  を押す

2  または  を押して「時刻・その他設定」を選び  を押す

3  または  を押して「油面計設定」を選び  を押す

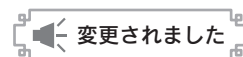
- 現在の設定値が点滅します。

4  を押して「OFF」を選び  を押す

設定内容

OFF←0←2←4～116←118←120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

1  を押す

2  または  を押して機能設定番号「21」を選び  を押す

3  を押して「oFF」を選び  を押す

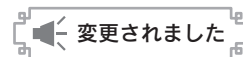
設定内容

oFF←0←2←4～116←118←120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



機能設定番号



 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

型名		KIB-4770DSA	
型式の呼び		KIB-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量		53.8kW (5.23L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	86.5%	
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	0.8L	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.23m ²	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ790mm 幅300mm 奥行591mm	
質量 (満水時)		36kg (38kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 70/ 65W 燃焼時： 95/ 90W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時： 140/140W 燃焼時： 160/155W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.4m	
排気温度		260℃以下	
排気筒の呼び径		106	
騒音レベル		48dB (正面)	
循環管取付口径		R1/2 (15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置 (別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・排水用ホッパー・ビニルホース (金具付)・循環接続口フタ 転倒防止金具・取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ	
構造名 (省エネ法)		Ⅲ - I	
エネルギー消費効率 (モード)		85.5%	

ご使用の前に

必要なときに

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

仕 様

型名		KIBF-4770DSX・KIBF-4770DSA・KIBF-4770DX・KIBF-4770DA	
型式の呼び		KIBF-477	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形	
点火方式		高压放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量		53.8kW(5.23L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW(12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	86.5%	
連続給湯出力		46.5kW(40,000kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	0.8L	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.23m ²	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ721mm 幅595mm 奥行248mm	
質量(満水時)		35kg(37kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 95/ 90W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：160/155W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	
電源コードの長さ		2.6m	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		46dB(正面)	
循環管取付口径		R1/2(15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
区分名(省エネ法)		Ⅲ	
構造名(省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率(モード)		85.5%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

型名		KIBF-4770DS		KIBF-4770DKA	
型式の呼び		KIBF-477			
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用			
		屋外用開放形			
点火方式		高圧放電式			
最低作動水量		2.5±0.5L/min			
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)			
燃料消費量		53.8kW (5.23L/h)			
出力	ふろ側	15.0kW (12,900kcal/h)			
湯沸効率		84.0%			
連続給湯効率	給湯側	86.5%			
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)			
熱交換器容量	給湯側	0.8L			
	ふろ側	0.6L			
使用圧力 (最高使用圧力)		1.0MPa (10kgf/cm ²)			
伝熱面積	給湯側	0.23m ²			
	ふろ側	0.23m ²			
外形寸法		高さ721mm 幅595mm 奥行248mm		高さ655mm 幅520mm 奥行250mm	
質量 (満水時)		35kg (37kg)		32kg (34kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz			
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 95/ 90W		点火時： 70/ 70W 燃焼時：120/115W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：160/155W		点火時：140/140W 燃焼時：180/175W	
待機時消費電力		2.0W		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合 ：2.0W	
電源コードの長さ		2.6m		2.1m	
排気温度		260℃以下			
騒音レベル		46dB (正面)		51dB (正面)	
循環管取付口径		R1/2 (15A)			
基準浴そう		有効水量200～300L (最大400Lまで)			
電流ヒューズ		10A			
送風機ヒューズ		3A			
温度ヒューズ		184℃			
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ			
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置 (別売部品)			
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋			
		ビニルホース・転倒防止金具		ビニルホース (金具付)・木ねじ	
区分名 (省エネ法)		Ⅲ			
構造名 (省エネ法)		Ⅲ - I			
エネルギー消費効率 (モード)		85.5%			

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	13L/分	18L/分	30L/分
50℃	10L/分	13L/分	18L/分
60℃	8L/分	10L/分	13L/分

仕 様

型名		KIBF-3970DSA・KIBF-3970DA	KIBF-3970D
型式の呼び		KIBF-397	
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・強制循環式・家庭用	
		屋外用開放形	
点火方式		高圧放電式	
最低作動水量		2.5±0.5L/min	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量		44.8kW(4.35L/h)	
出力	ふろ側	15.0kW(12,900kcal/h)	
湯沸効率		84.0%	
連続給湯効率	給湯側	87.0%	
連続給湯出力		39.0kW(33,500kcal/h)	
熱交換器容量	給湯側	0.8L	
	ふろ側	0.6L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝熱面積	給湯側	0.23m ²	
	ふろ側	0.23m ²	
外形寸法		高さ721mm 幅595mm 奥行248mm	
質量(満水時)		35kg(37kg)	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時： 68/ 68W 燃焼時： 85/ 80W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：130/130W 燃焼時：150/145W	
待機時消費電力		タッチパネルリモコンの場合：3.7W インターホンリモコンの場合：3.1W 音声リモコンの場合：2.0W	2.0W
電源コードの長さ		2.6m	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		44dB(正面)	
循環管取付口径		R1/2(15A)	
基準浴そう		有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・漏電ブレーカ	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
		—	ビニルホース
区分名(省エネ法)		Ⅲ	
構造名(省エネ法)		Ⅲ-1	
エネルギー消費効率(モード)		85.5%	

給湯使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	16L/分	22L/分	32L/分
50℃	12L/分	16L/分	22L/分
60℃	10L/分	12L/分	16L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

給湯・追いだし同時使用時

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	10L/分	14L/分	23L/分
50℃	8L/分	10L/分	14L/分
60℃	6L/分	8L/分	10L/分

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書をご覧ください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据え付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」を参照して行ってください。

●このページは空白です。

長府強制追焚付石油給湯器(直圧式)保証書(販売店様控)

型 名	KIB-4770DSA KIBF-4770DKA KIBF-4770DSX KIBF-3970DSA KIBF-4770DSA KIBF-3970DA KIBF-4770DX KIBF-3970D KIBF-4770DA KIBF-4770DS		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府強制追焚付石油給湯器(直圧式)保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	KIB-4770DSA KIBF-4770DKA KIBF-4770DSX KIBF-3970DSA KIBF-4770DSA KIBF-3970DA KIBF-4770DX KIBF-3970D KIBF-4770DA KIBF-4770DS		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
 - ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。
- 次の場合は保証期間内でも有料修理になります。
- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
 - (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
 - (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
 - (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
 - (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
 - (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
 - (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
 - (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
 - (13) 公害による不具合
 - (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
 - (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな?と思ったら」[47～57ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	強制追焚付石油給湯器(直圧式)
型名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2・16～18ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1